

2 第2回アンケートの調査結果

2.1 定住状況について

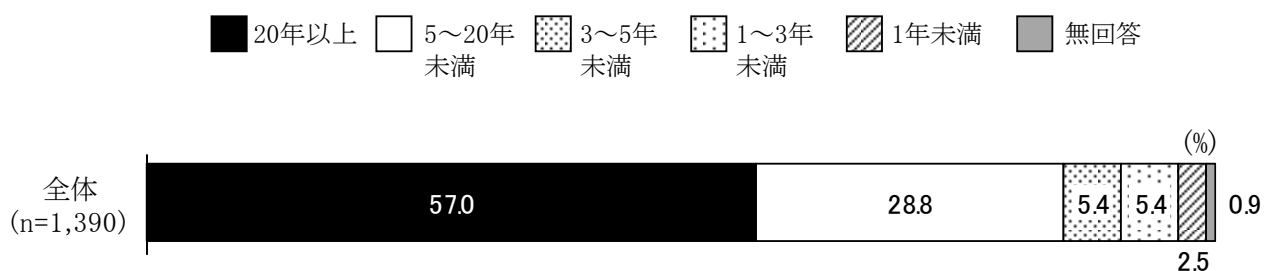
(1) 居住年数

問1. あなたは川崎市及び現在のお住まいの区に、通算、何年間居住していますか。また、現在のお住まいには、何年間、居住していますか。

① 川崎市

居住年数「20年以上」は57.0%、5年以上の居住者は85.8%となっている。

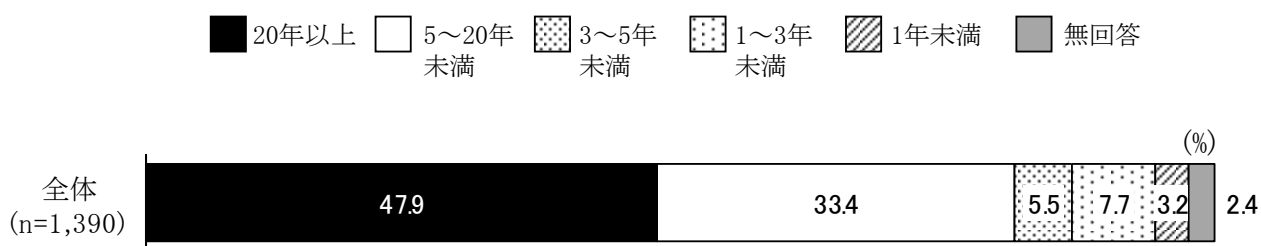
【図表 59】居住年数（川崎市）



② 現在お住まいの区

居住年数「20年以上」は47.9%、5年以上の居住者は81.3%となっている。

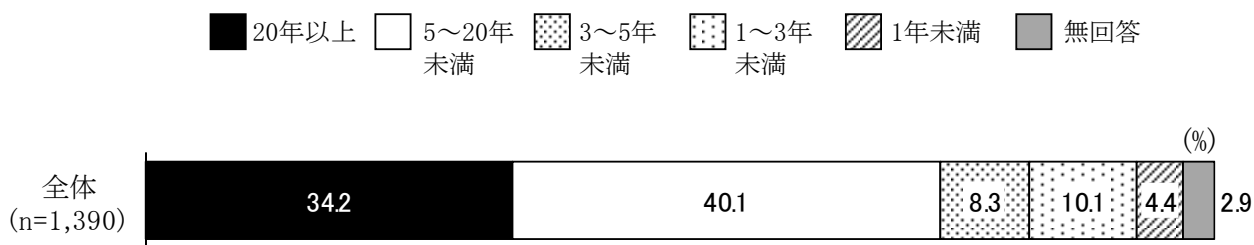
【図表 60】居住年数（現在お住まいの区）



③ 現在のお住まい

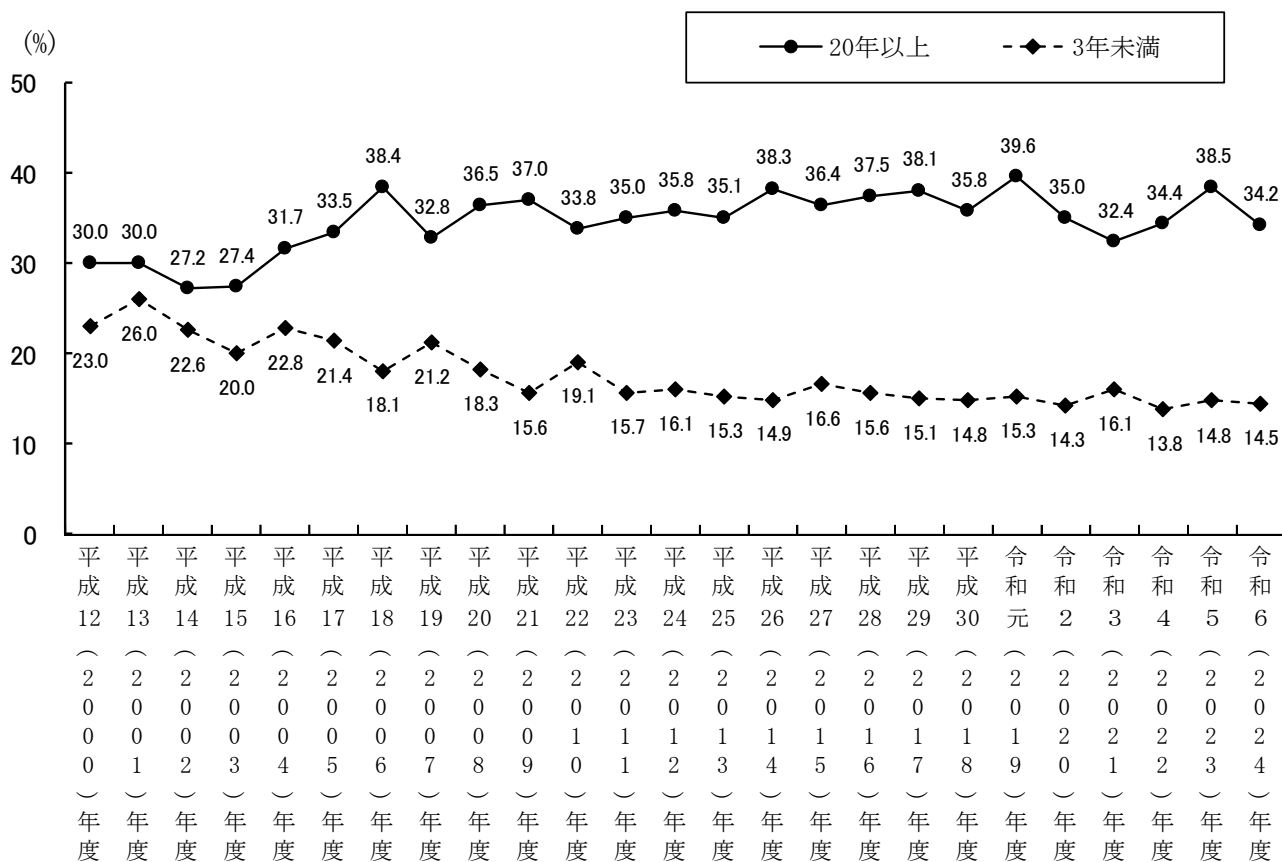
居住年数「20年以上」は34.2%、5年以上の居住者は74.4%となっている。

【図表 62】居住年数（現在のお住まい）



過去の推移では、「20年以上」は昨年度（令和5年度）から4.3ポイント減少して34.2%となり、「3年未満」は大きな変化が見られなかった。「20年以上」と「3年未満」の割合の差は19.7ポイントとなっている。

【図表 63】居住年数（経年比較）



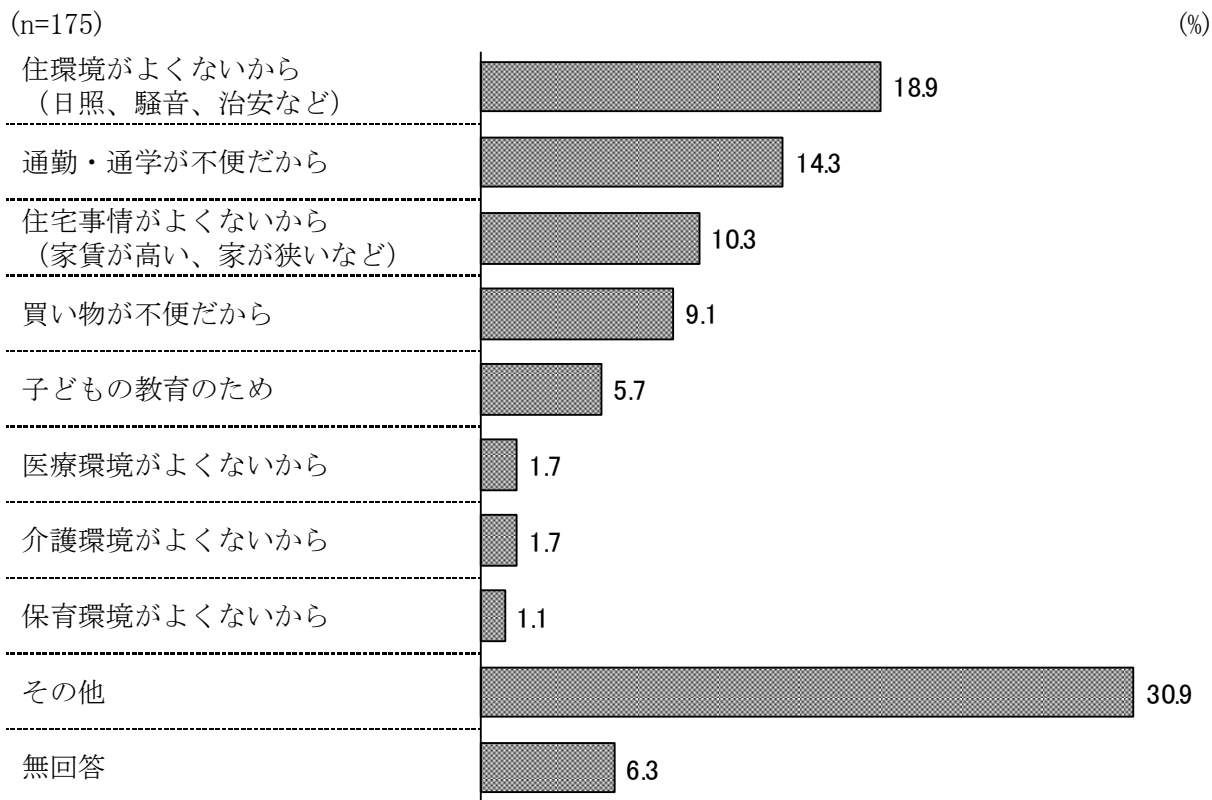
※令和2年度までの設問文は「今のところにお住まいになって何年になりますか」で実施

(3) 転居意向の理由

問3. あなたが、今のところから移りたい、または移る主な理由は何ですか。最もあてはまる理由を1つだけ選んでください。

「できれば市内の他の区へ移りたい」、「できれば市外へ移りたい」と回答した転居意向がある人に転居意向の理由を聞いたところ、「住環境がよくないから（日照、騒音、治安など）」（18.9%）が最も高く、次いで「通勤・通学が不便だから」（14.3%）、「住宅事情がよくないから（家賃が高い、家が狭いなど）」（10.3%）と続いている。

【図表 67】 転居意向の理由

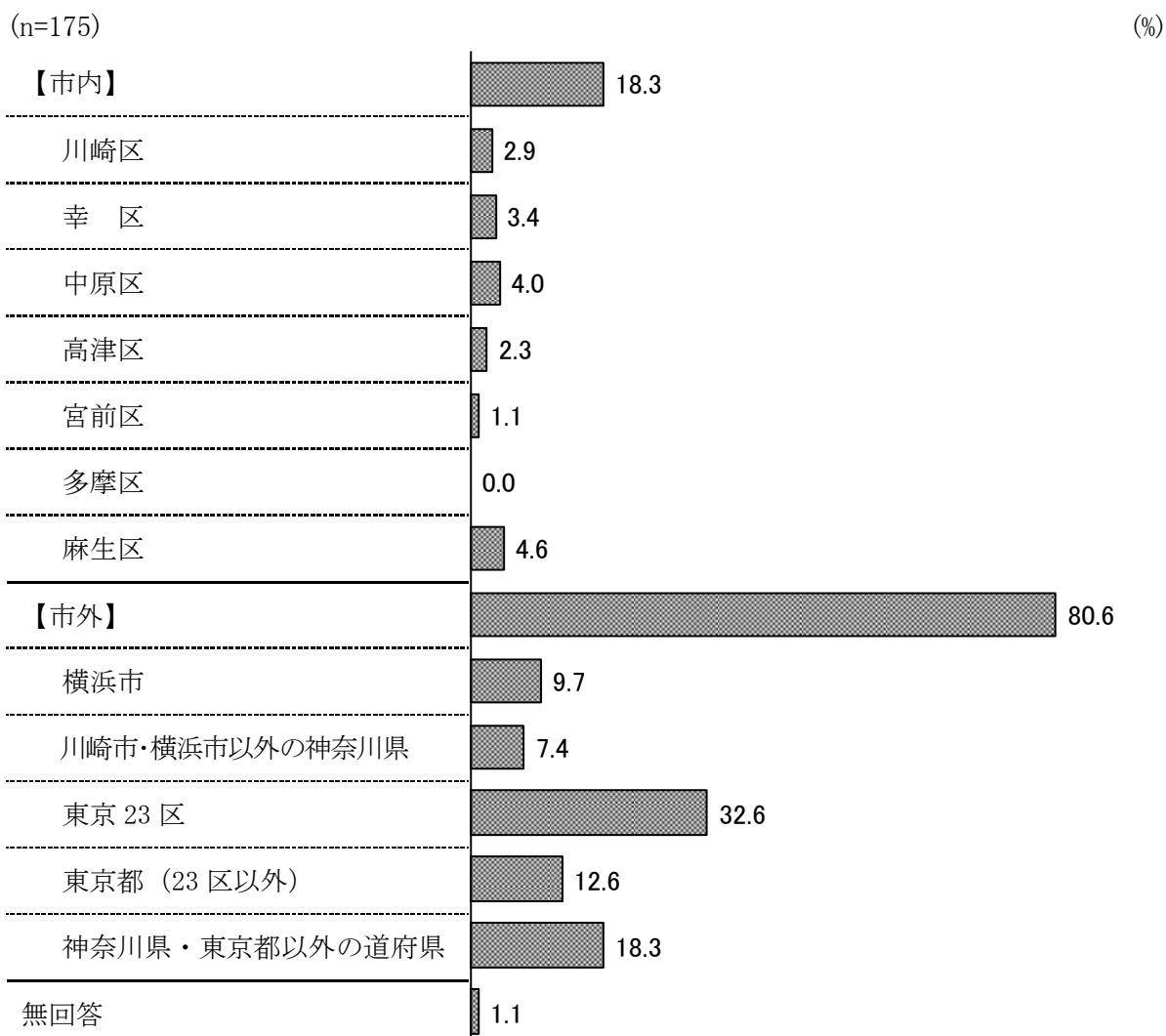


(4) 転居先の希望

問4. あなたは、どこに住みたいと思いますか。最も住みたいと思う地域を1つだけ選んでください。

転居意向がある人の転居先の希望は、【市内】が18.3%、【市外】が80.6%であった。【市内】では「麻生区」(4.6%)が最も高く、次いで「中原区」(4.0%)、「幸区」(3.4%)と続いている。【市外】では「東京23区」(32.6%)が最も高く、次いで「神奈川県・東京都以外の道府県」(18.3%)、「東京都(23区以外)」(12.6%)と続いている。

【図表 68】 転居先の希望



居住区別の転居先の希望は、回答者数が少ないため参考にとどめる。

【図表 69】 転居先の希望（居住区別）

(%)

	全体	居住区						
		川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区
ベース: 転居意向がある人	(175)	(28)	(15)	(18)	(26)	(28)	(34)	(22)
【市内】	18.3	17.9	26.7	5.6	7.7	25.0	29.4	13.6
川崎区	2.9	0.0	6.7	0.0	0.0	7.1	2.9	4.5
幸区	3.4	14.3	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	4.5
中原区	4.0	0.0	6.7	0.0	7.7	3.6	5.9	4.5
高津区	2.3	3.6	0.0	0.0	0.0	7.1	2.9	0.0
宮前区	1.1	0.0	6.7	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
多摩区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
麻生区	4.6	0.0	6.7	0.0	0.0	3.6	17.6	0.0
【市外】	80.6	82.1	73.3	94.4	92.3	71.4	67.6	86.4
横浜市	9.7	17.9	6.7	11.1	11.5	7.1	2.9	13.6
川崎市・横浜市以外の神奈川県	7.4	14.3	0.0	11.1	11.5	0.0	11.8	0.0
東京23区	32.6	35.7	53.3	27.8	34.6	46.4	17.6	18.2
東京都(23区以外)	12.6	3.6	13.3	16.7	11.5	3.6	14.7	27.3
神奈川県・東京都以外の道府県	18.3	10.7	0.0	27.8	23.1	14.3	20.6	27.3
無回答	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	2.9	0.0

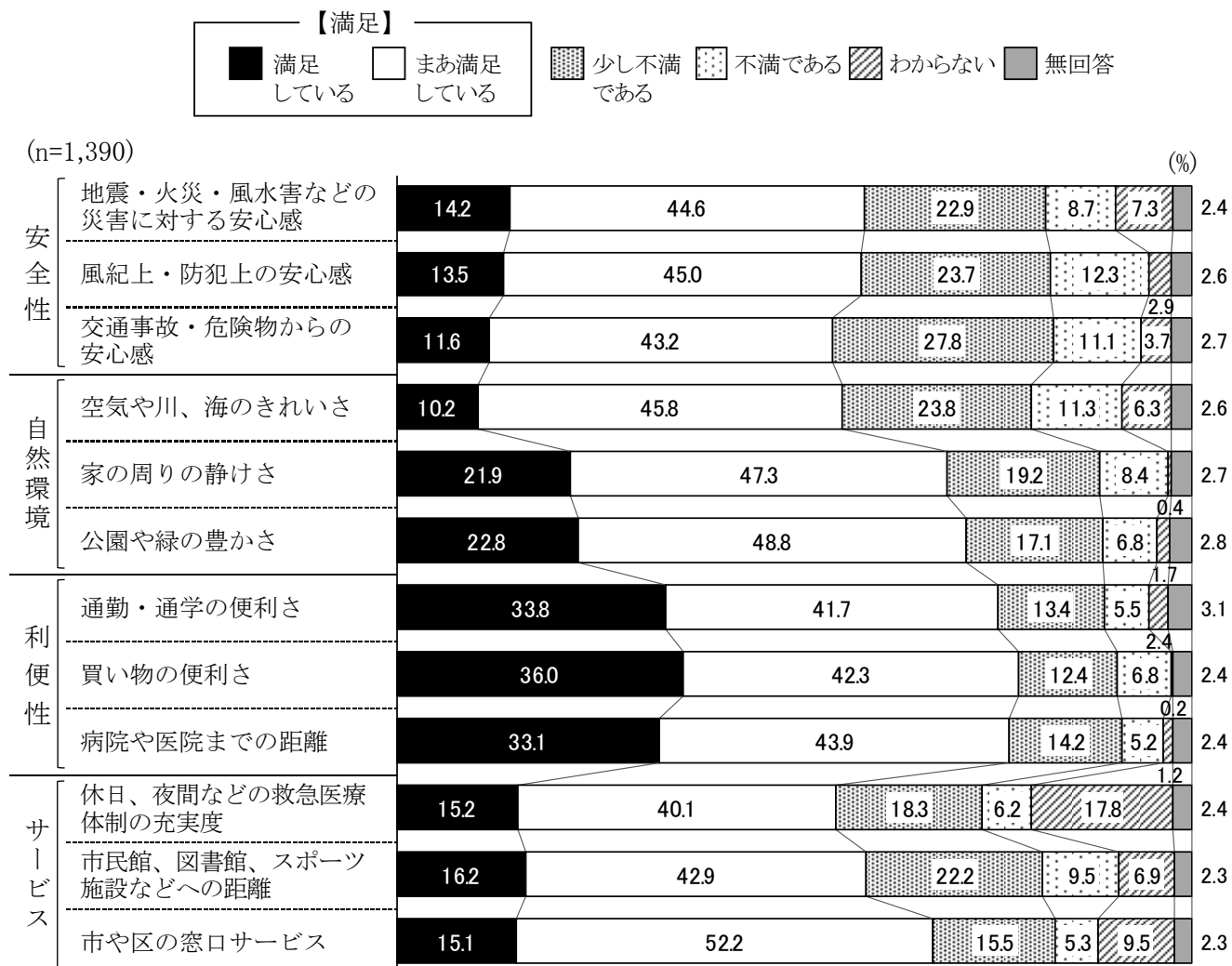
2.2 生活環境の評価について

(1) 生活環境の満足度

問5. お住まいの周りの生活環境についてうかがいます。あなたは、次にあげる項目についてどの程度満足していますか。

生活環境の満足度について、「満足している」と「まあ満足している」を合計した【満足】は、『利便性』の項目が高く、「買い物の便利さ」(78.3%)、「病院や医院までの距離」(77.0%)、「通勤・通学の便利さ」(75.5%)、いずれも7割台後半となっている。一方、『安全性』の項目は3項目とも【満足】が5割台にとどまり、中でも「交通事故・危険物からの安心感」(54.7%)が最も低くなっている。

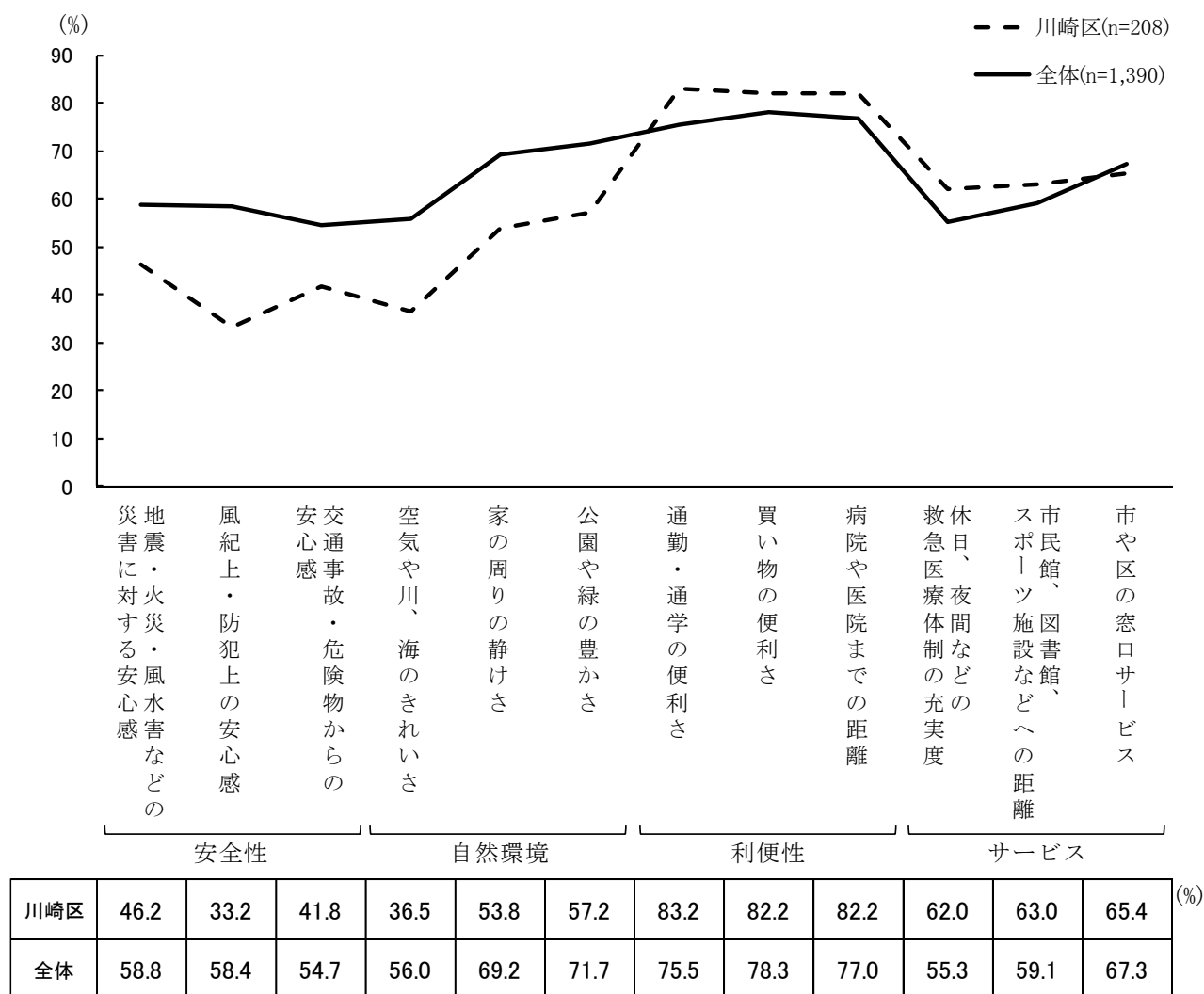
【図表 70】生活環境の満足度



川崎区と市全体の満足度を比較すると、『利便性』ではどの項目も市全体の満足度を上回っており、『サービス』でも全体の満足度と同水準か上回っている。

一方、『安全性』『自然環境』ではどの項目も市全体の満足度を10ポイント以上下回っており、「風紀上・防犯上の安心感」は25.2ポイント、「空気や川、海のきれいさ」は19.5ポイント、「家の周りの静けさ」は15.4ポイント下回った。

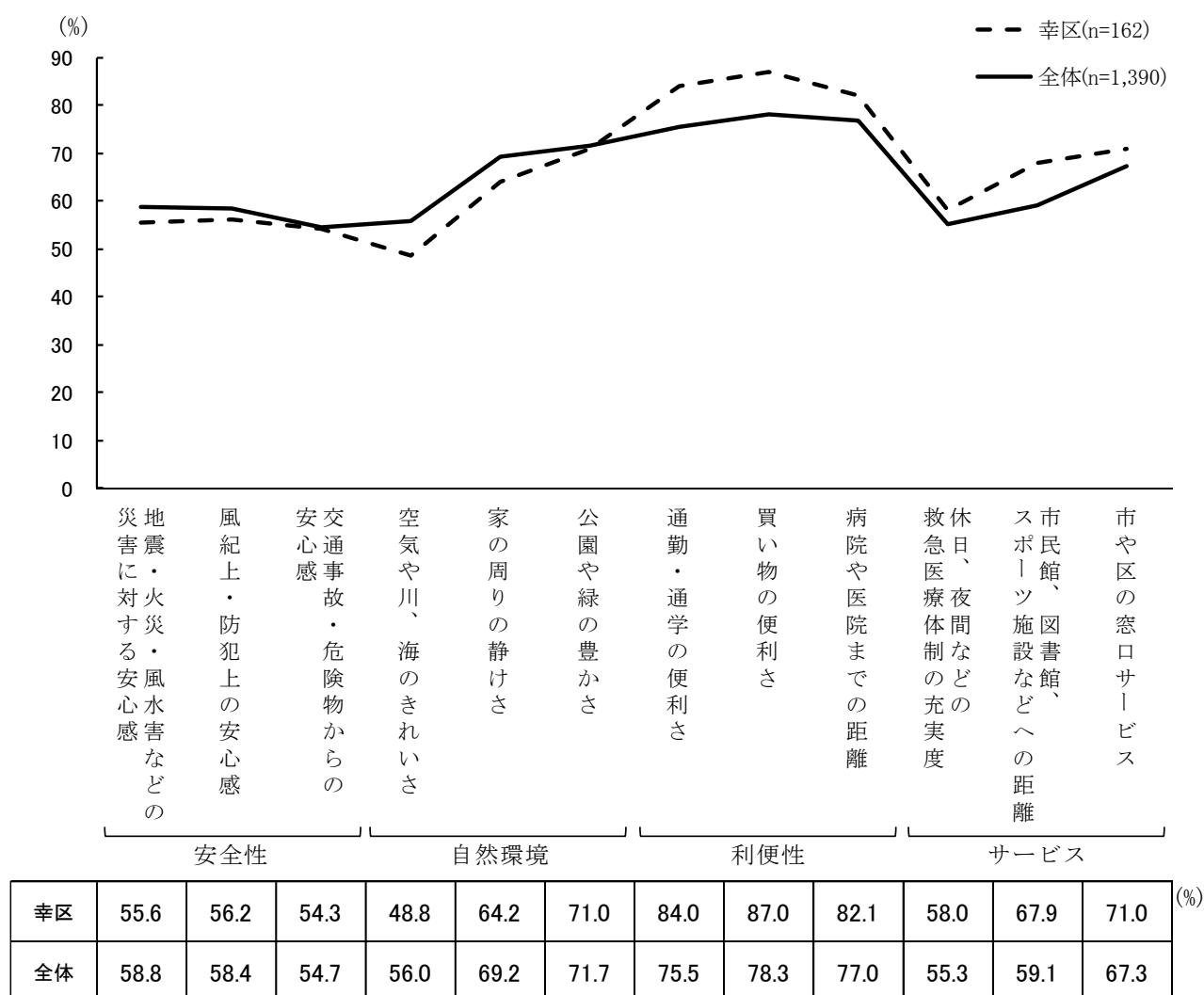
【図表 73】生活環境の満足度（【満足】回答者、川崎区）



幸区と市全体の満足度を比較すると、『利便性』『サービス』の項目はいずれも市全体の満足度を上回っており、「市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離」は8.8ポイント、「買い物の便利さ」は8.7ポイント、「通勤・通学の便利さ」は8.5ポイント上回った。

一方、『安全性』『自然環境』ではどの項目も市全体の満足度と同水準か下回っており、「空気や川、海のきれいさ」は7.2ポイント、「家の周りの静けさ」は5.0ポイント下回った。

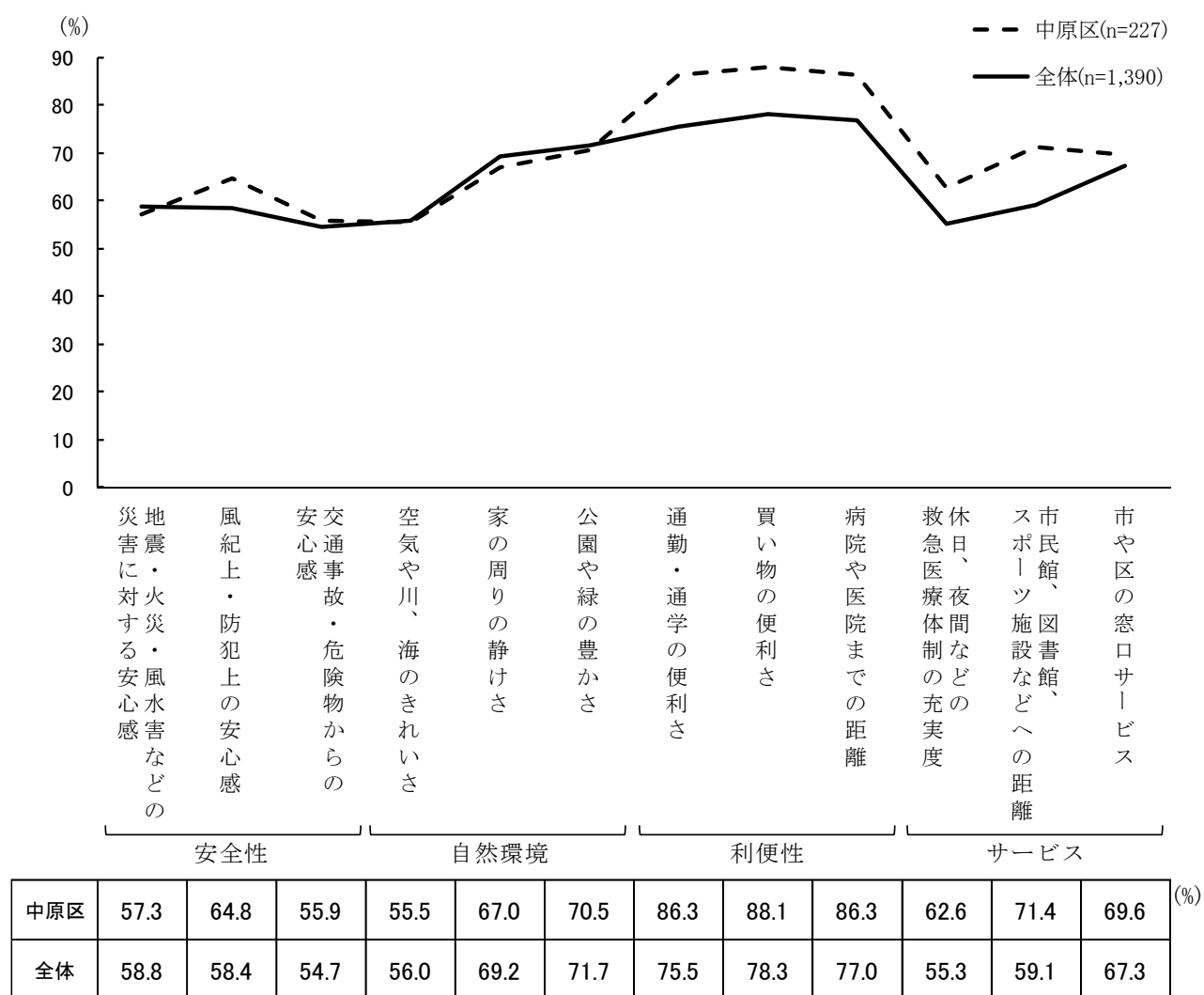
【図表 74】生活環境の満足度（【満足】回答者、幸区）



中原区と市全体の満足度を比較すると、『利便性』『サービス』の項目はいずれも市全体の満足度を上回っており、「市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離」は12.3ポイント、「通勤・通学の便利さ」は10.8ポイント上回った。

『安全性』の項目は、市全体の満足度と比較して「風紀上・防災上の安心感」が6.4ポイント上回った。『自然環境』では特に目立った点は見られなかった。

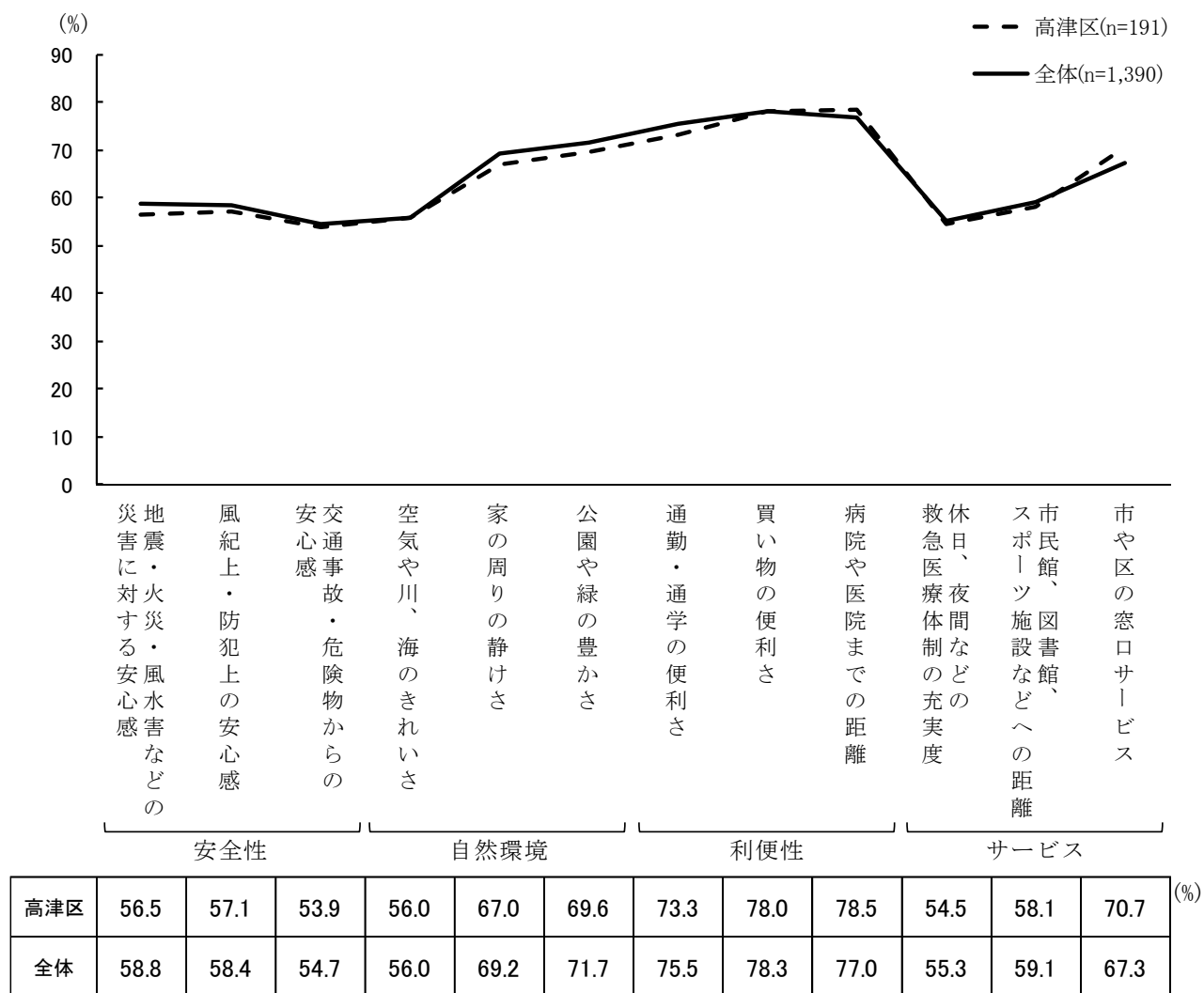
【図表 75】生活環境の満足度（【満足】回答者、中原区）



高津区と市全体の満足度を比較すると、『安全性』『自然環境』『利便性』の項目は、いずれも市全体の満足度と同水準となっている。

『サービス』の項目は、市全体の満足度と比較して「市や区の窓口サービス」が3.4ポイント上回ったが、その他の項目では特に目立った点は見られなかった。

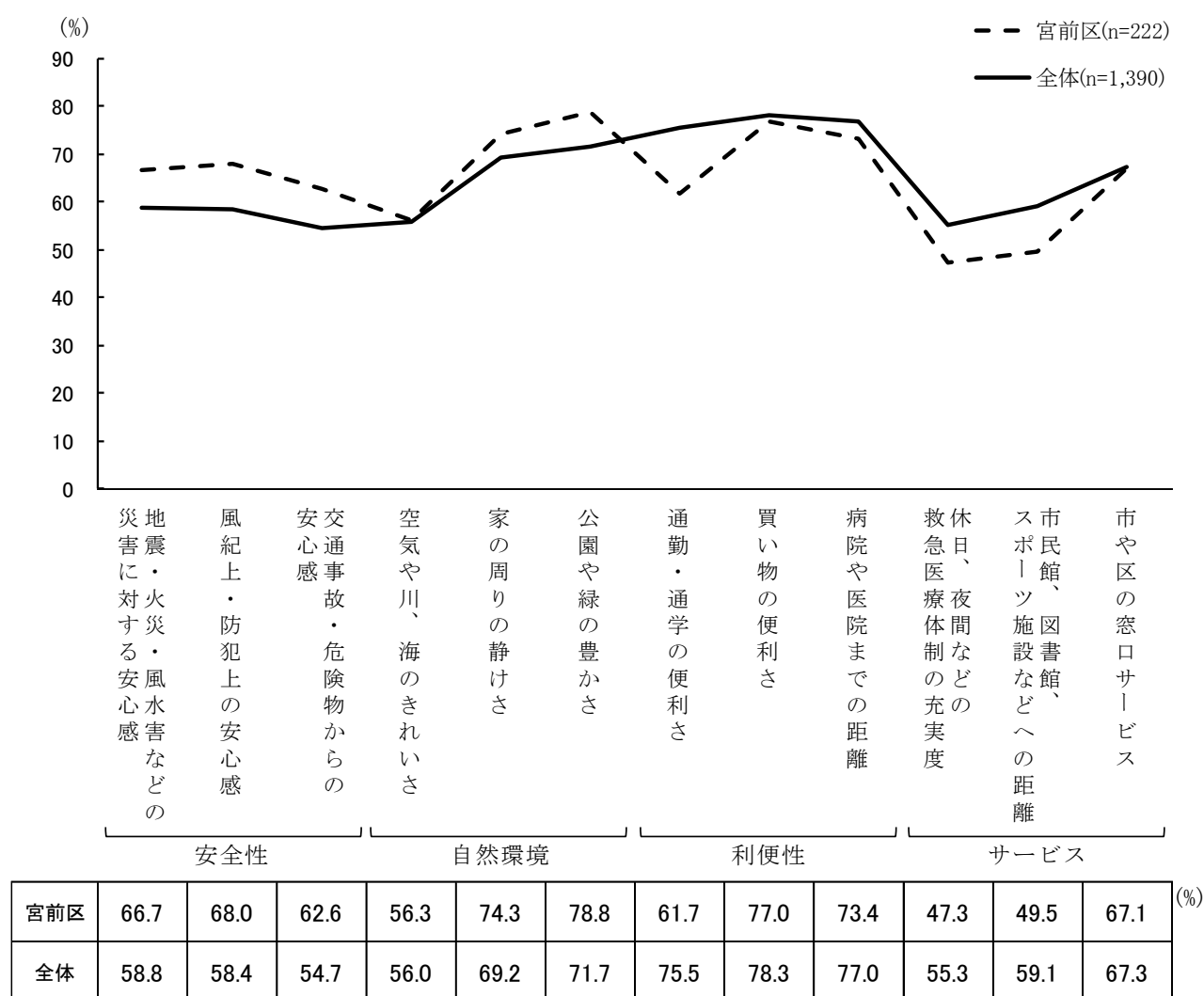
【図表 76】生活環境の満足度（【満足】回答者、高津区）



宮前区と市全体の満足度を比較すると、『安全性』『自然環境』ではどの項目も市全体の満足度と同水準か上回っており、「風紀上・防犯上の安心感」は9.6ポイント、「地震・火災・風水害などの災害に対する安心感」と「交通事故・危険物からの安心感」はともに7.9ポイント、「公園や緑の豊かさ」は7.1ポイント上回った。

一方、『利便性』『サービス』ではどの項目も市全体の満足度と同水準か下回っており、「通勤・通学の便利さ」は13.8ポイント、「市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離」は9.6ポイント、「休日、夜間などの救急医療体制の充実度」は8.0ポイント下回った。

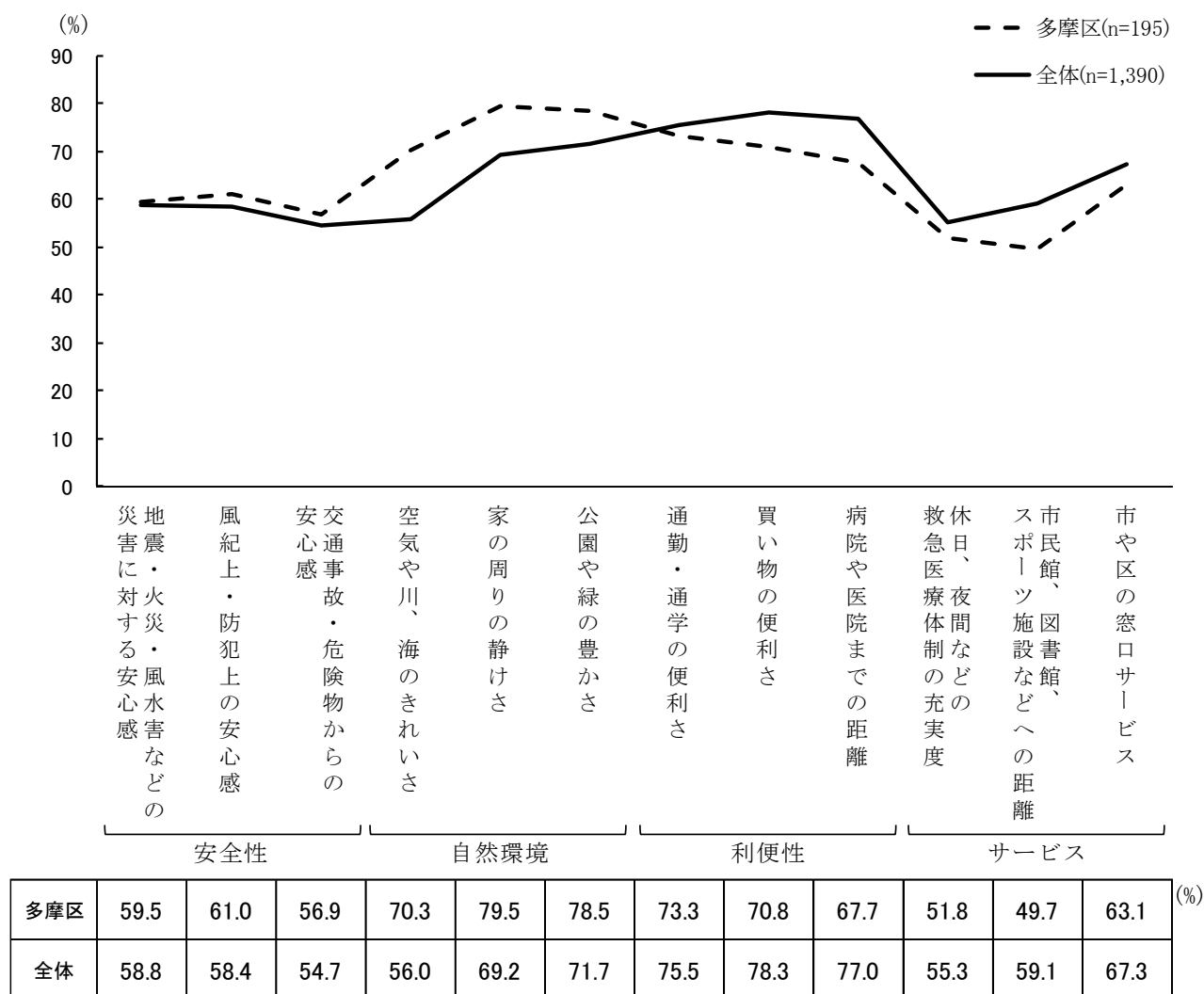
【図表 77】生活環境の満足度（【満足】回答者、宮前区）



多摩区と市全体の満足度を比較すると、『自然環境』ではどの項目も市全体の満足度を上回っており、「空気や川、海のきれいさ」は14.3ポイント、「家の周りの静けさ」は10.3ポイント、「公園や緑の豊かさ」は6.8ポイント上回った。

一方、『利便性』『サービス』ではどの項目も市全体の満足度と同水準か下回っており、「市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離」は9.4ポイント、「病院や医院までの距離」は9.3ポイント、「買い物の便利さ」は7.5ポイント下回った。『安全性』では特に目立った点は見られなかった。

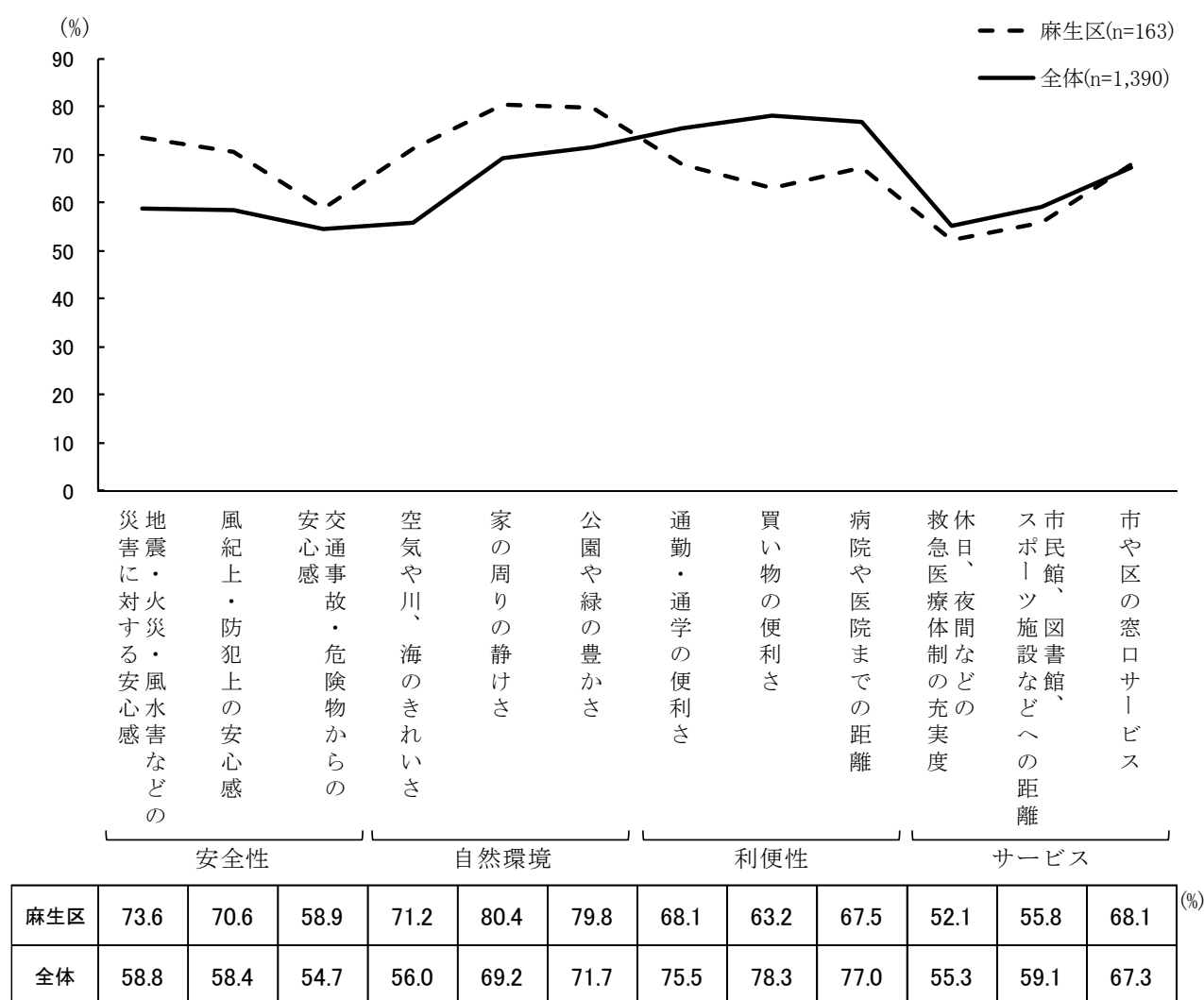
【図表 78】生活環境の満足度（【満足】回答者、多摩区）



麻生区と市全体の満足度を比較すると、『安全性』『自然環境』ではどの項目も市全体の満足度を上回っており、「地震・火災・風水害などの災害に対する安心感」、「風紀上・防犯上の安心感」、「空気や川、海のきれいさ」、「家の周りの静けさ」の4項目では10ポイント以上上回った。

一方、『利便性』『サービス』ではどの項目も市全体の満足度と同水準か下回っており、「買い物の便利さ」は15.1ポイント、「病院や医院までの距離」は9.5ポイント、「通勤・通学の便利さ」は7.4ポイント下回った。

【図表 79】生活環境の満足度（【満足】回答者、麻生区）

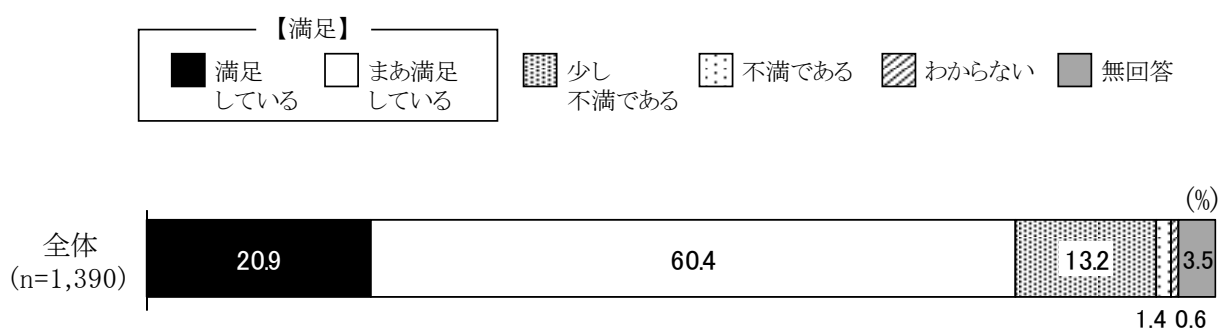


(2) 総合的な生活環境の満足度

問6. あなたは、地域の生活環境を総合的に見た場合、今住んでいる地域にどの程度満足していますか。

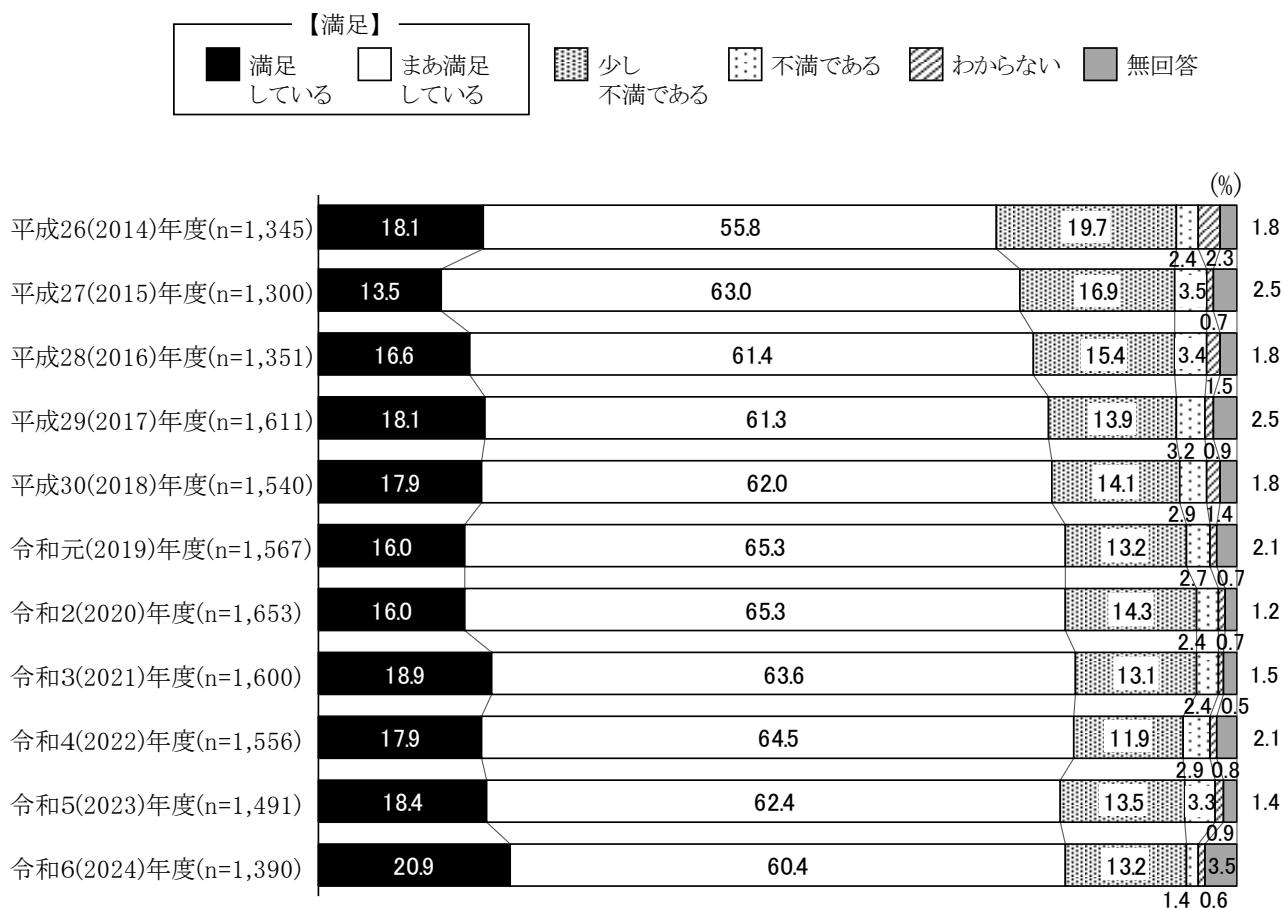
「満足している」(20.9%)と「まあ満足している」(60.4%)を合計した【満足】は81.3%であった。

【図表 80】総合的な生活環境の満足度



過去の推移では、【満足】は令和元（2019）年度以降8割台前半で推移しているが、10年前（平成26年度）と比較すると7.4ポイントの増加となっている。

【図表 81】総合的な生活環境の満足度（経年比較）



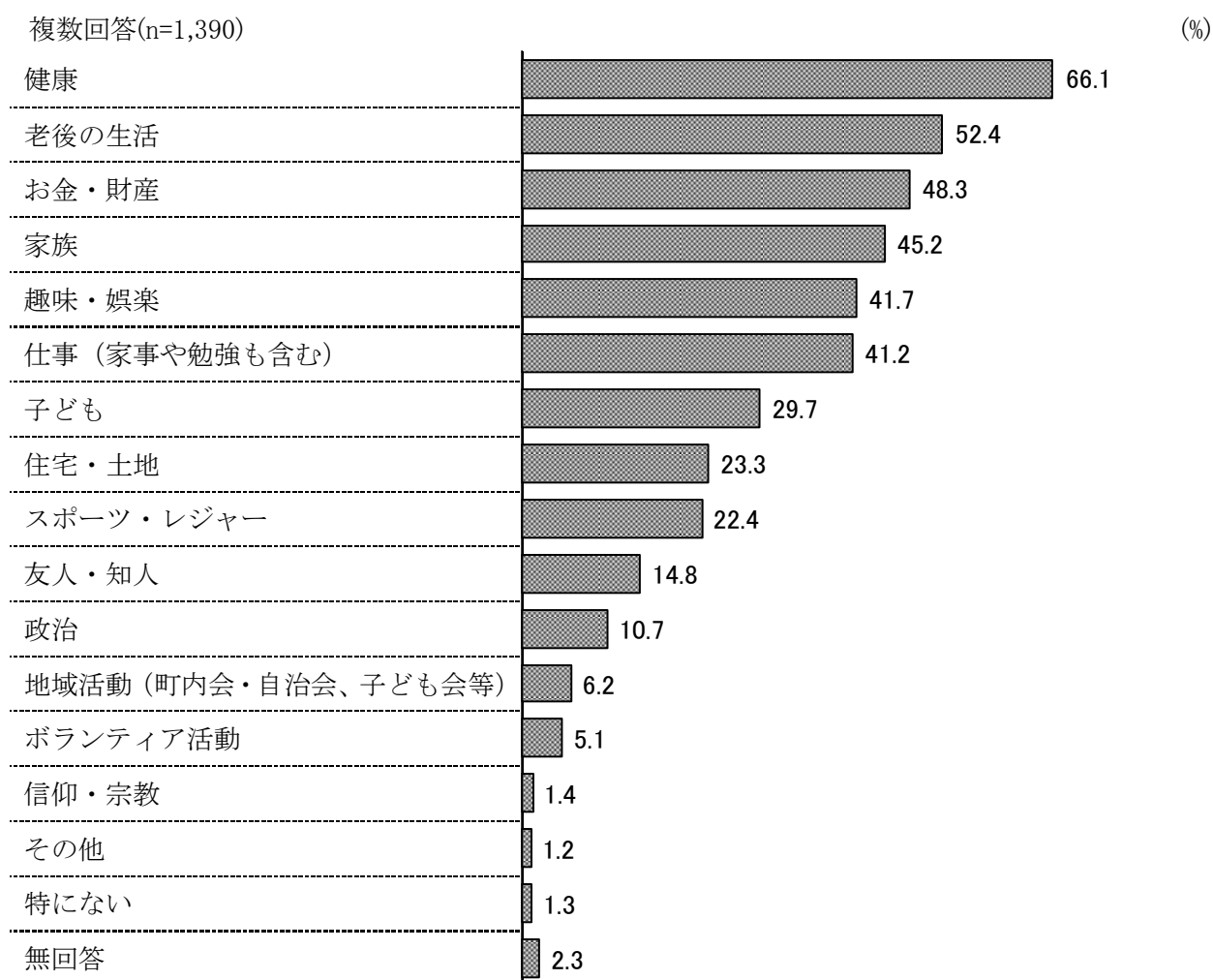
2.3 関心ごとと行動範囲について

(1) 関心を持っていること

問7. あなたが、現在特に関心をお持ちのことは何ですか。

現在特に関心を持っていることを選んでもらったところ、「健康」(66.1%)が最も高く、次いで「老後の生活」(52.4%)、「お金・財産」(48.3%)と続いている。

【図表 83】関心を持っていること（複数回答）



(2) 行動範囲

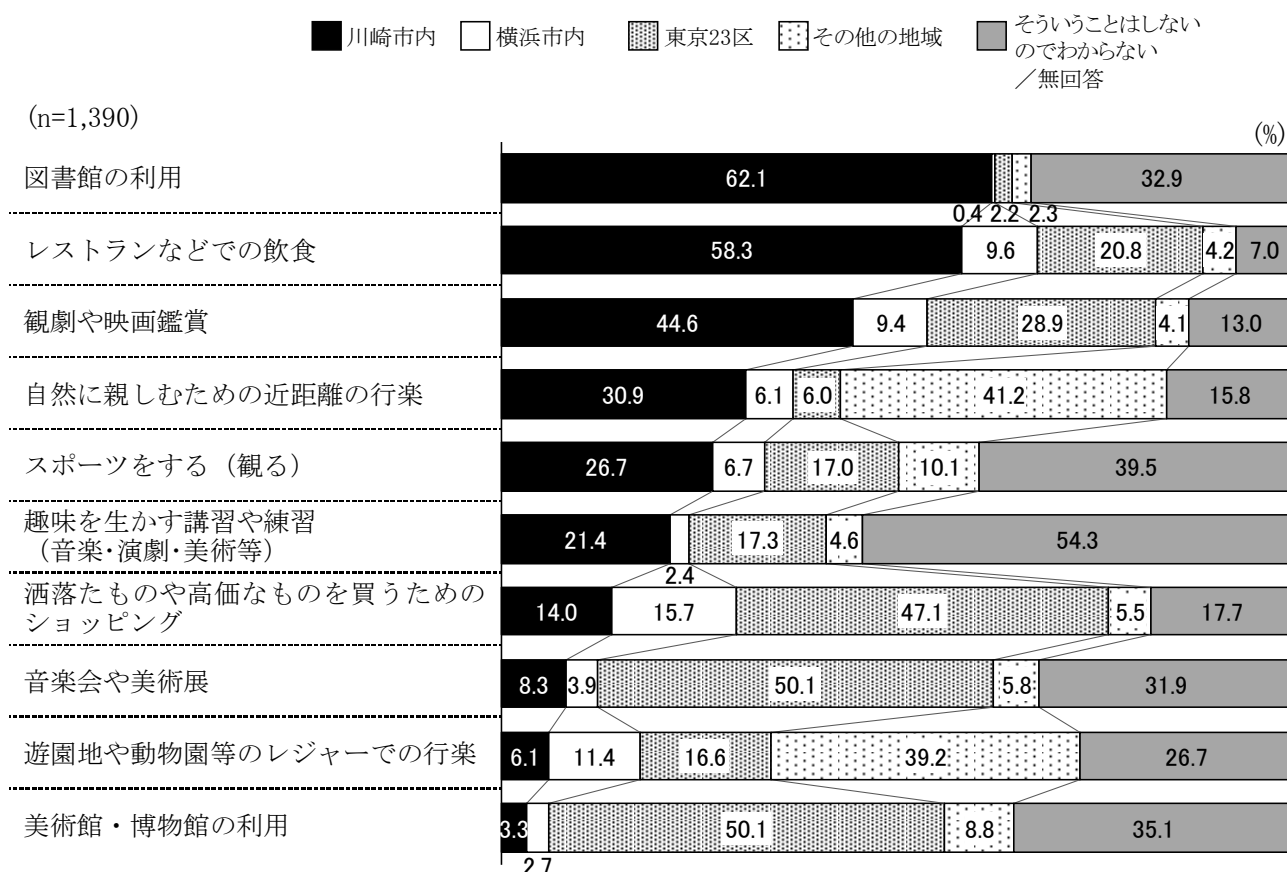
問8. あなたは、行楽や文化施設の利用・買い物などをされる場合、主にどこに行かれますか。それぞれの項目ごとに1つずつ選んでください。

川崎市民の行動範囲で『川崎市内』が最も高いのは「図書館の利用」(62.1%)であり、次いで「レストランなどでの飲食」(58.3%)、「観劇や映画鑑賞」(44.6%)と続いている。

『川崎市内』以外で利用率が最も高いのは、『東京23区』の「美術館・博物館の利用」と「音楽会や美術展」(ともに50.1%)であり、次いで「洒落たものや高価なものを買うためのショッピング」(47.1%)が続いている。

上記以外については、「自然に親しむための近距離の行楽」と「遊園地や動物園等のレジャーでの行楽」は『その他の地域』がそれぞれ41.2%、39.2%と最も高く、「趣味を生かす講習や練習(音楽・演劇・美術等)」と「スポーツをする(観る)」は『そういうことはしないのでわからない/無回答』がそれぞれ54.3%、39.5%と最も高かった。

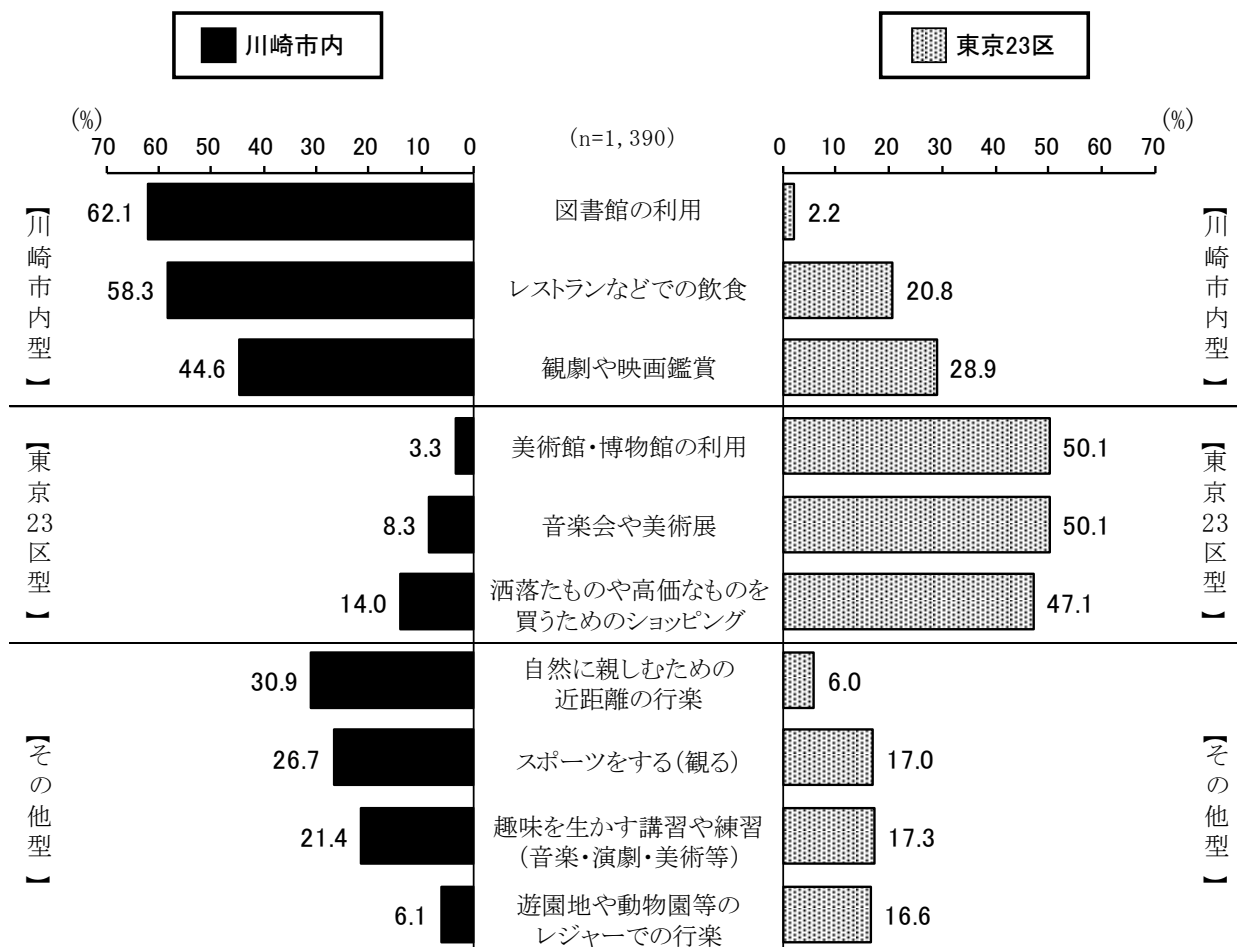
【図表 86】行動範囲



101 ページの【図表 86】をもとに、川崎市民の行動範囲で『川崎市内』が高いもの、『東京 23 区』が高いもの、この2つ以外のエリアが高いものの3種類で整理すると次のようになる。

- 【川崎市内型】 図書館の利用
レストランなどでの飲食
観劇や映画鑑賞
- 【東京 23 区型】 美術館・博物館の利用
音楽会や美術展
洒落たものや高価なものを買うためのショッピング
- 【その他型】 自然に親しむための近距離の行楽
スポーツをする（観る）
趣味を生かす講習や練習（音楽・演劇・美術等）
遊園地や動物園等のレジャーでの行楽

【図表 87】行動範囲（『川崎市内』と『東京 23 区』との比較）

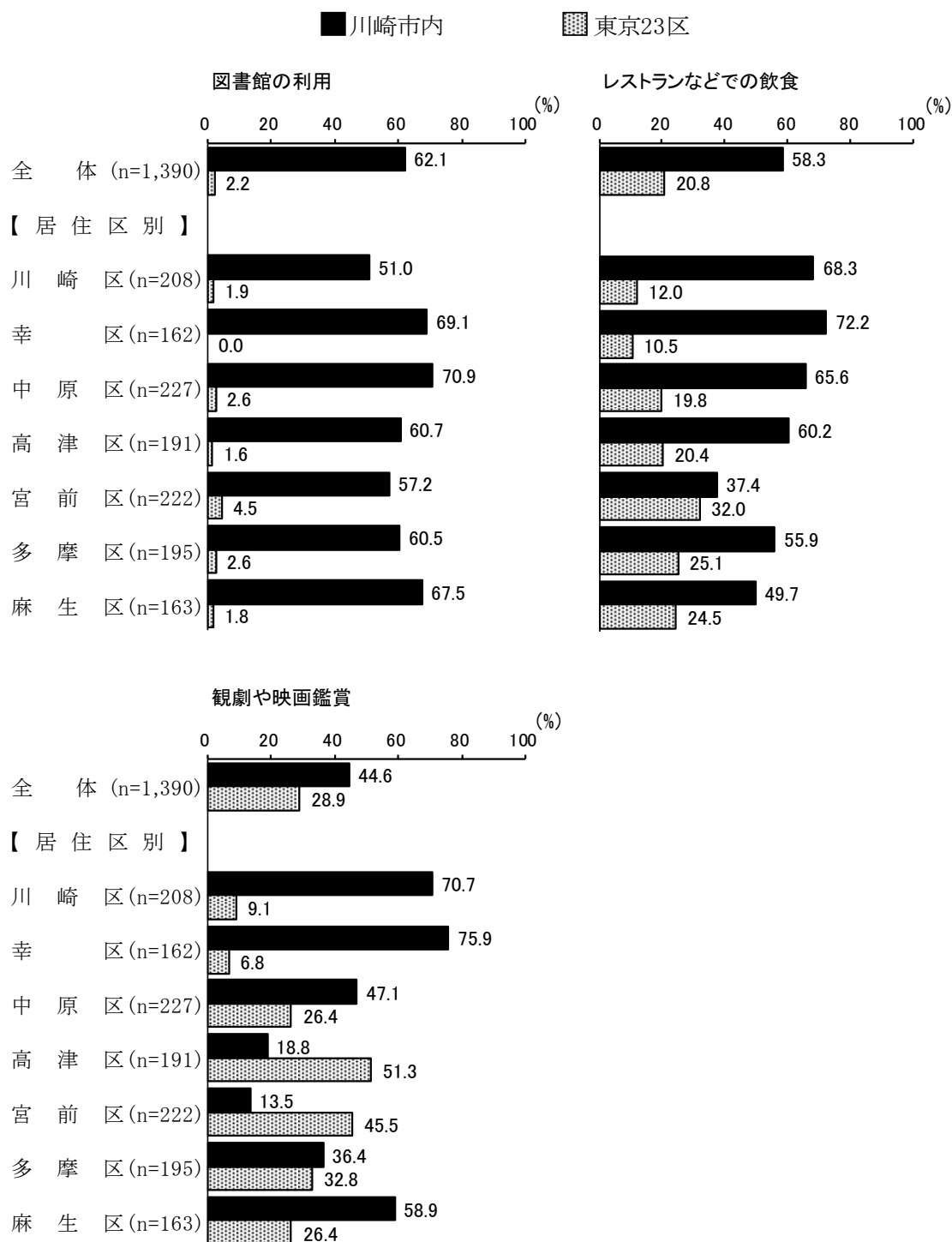


【川崎市内型】に分類した『川崎市内』での利用率が高い3項目を居住区別で比較すると、「図書館の利用」は『川崎市内』での利用率は「中原区」(70.9%)が最も高く、『東京23区』での利用率は最も高い「宮前区」でも4.5%に留まった。

「レストランなどでの飲食」は『川崎市内』での利用率は「幸区」(72.2%)が最も高く、『東京23区』での利用率は「宮前区」(32.0%)が最も高い。

「観劇や映画鑑賞」は『川崎市内』での利用率は「幸区」(75.9%)が最も高く、「高津区」と「宮前区」では、『川崎市内』よりも『東京23区』の利用率の方が高かった。

【図表 88】行動範囲(『川崎市内』と『東京23区』)との比較、居住区別【川崎市内型】



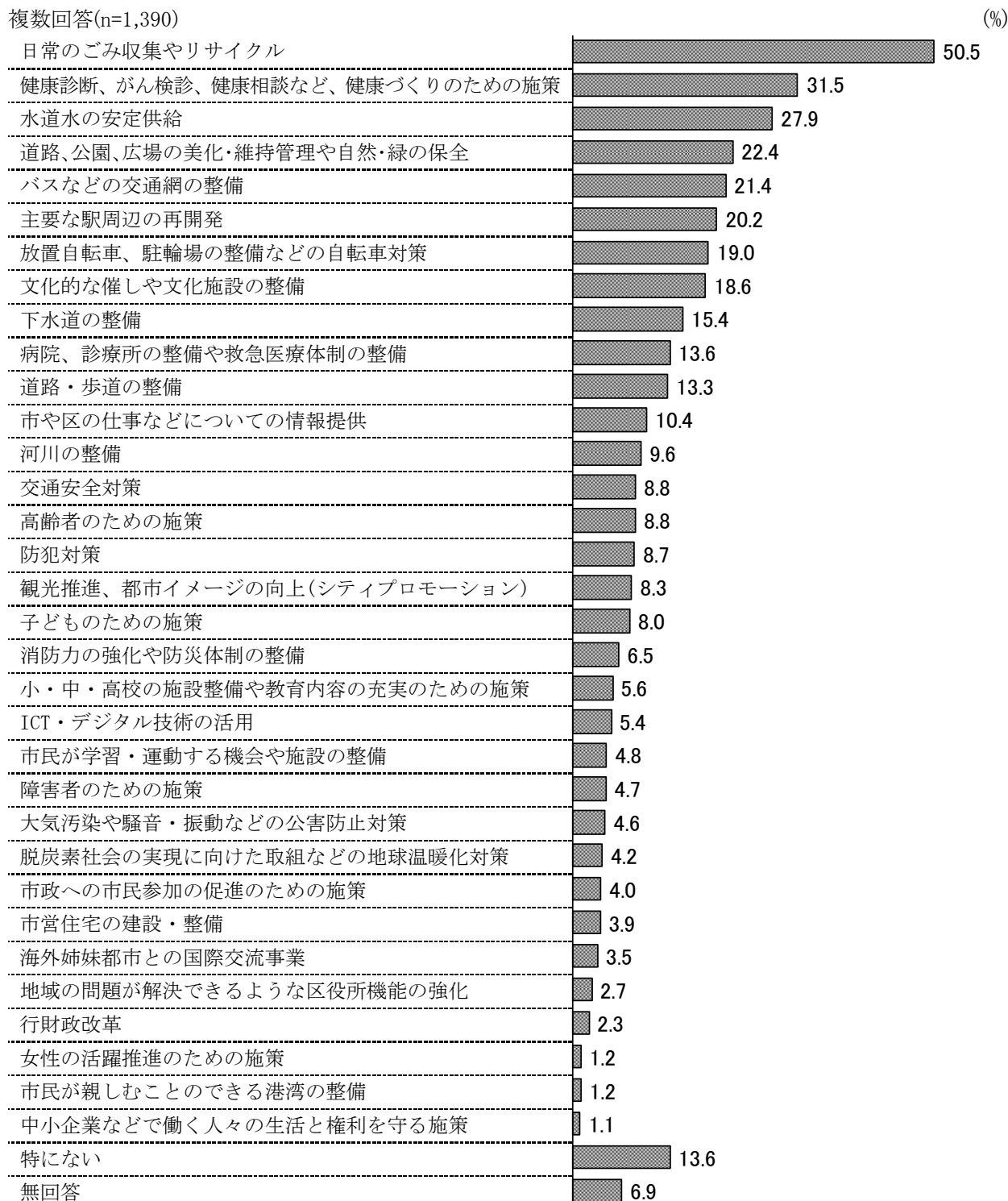
2.4 市政に対する評価と要望について

(1) 市政の仕事でよくやっていると思うこと

問9. 川崎市の市政について総合的にうかがいます。あなたは、川崎市が行っている施策や事業の中で、よくやっていると思われるものはどれですか。

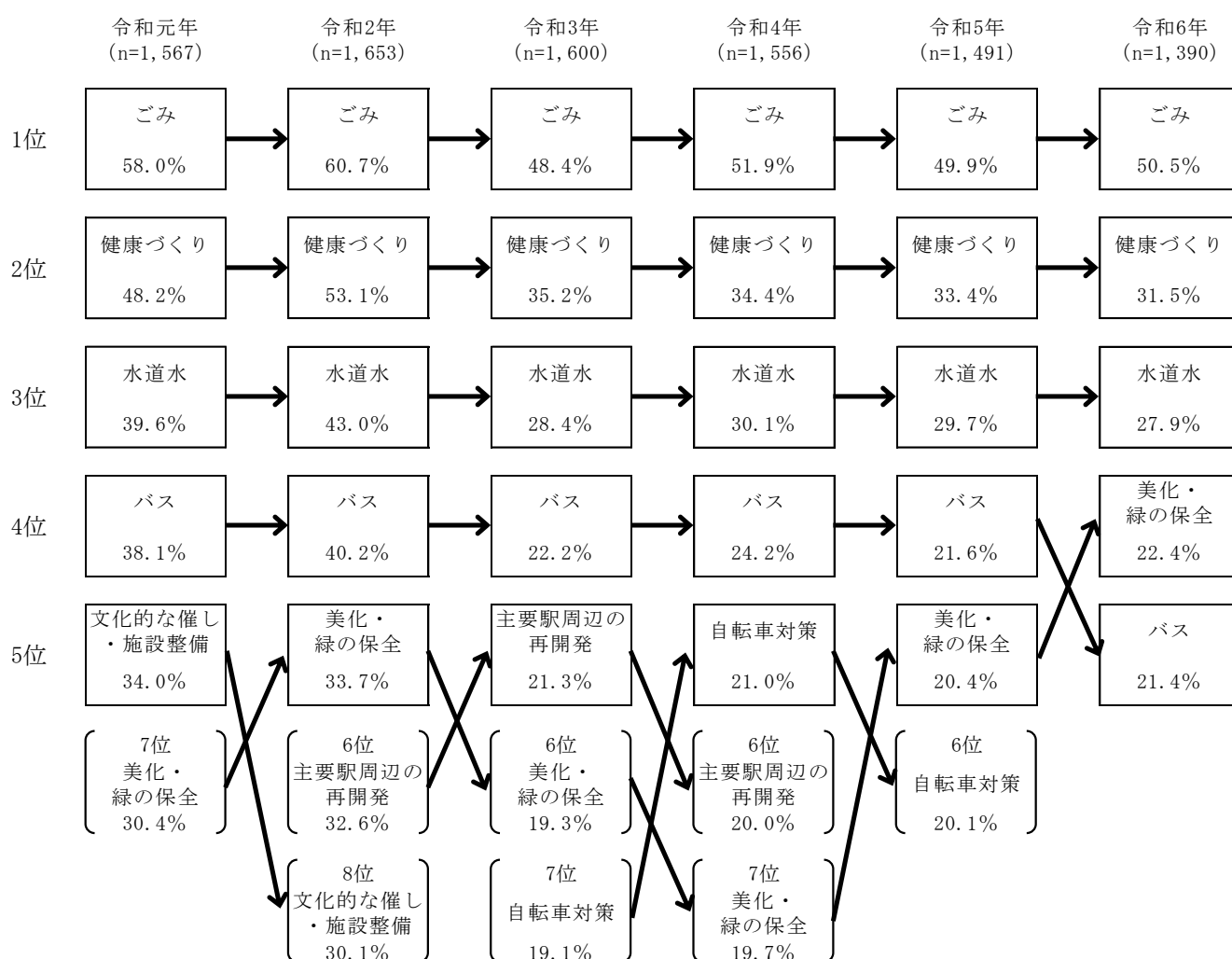
「日常のごみ収集やリサイクル」(50.5%)が最も高く、次いで「健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策」(31.5%)、「水道水の安定供給」(27.9%)と続いている。

【図表 91】市政の仕事でよくやっていると思うこと（複数回答）



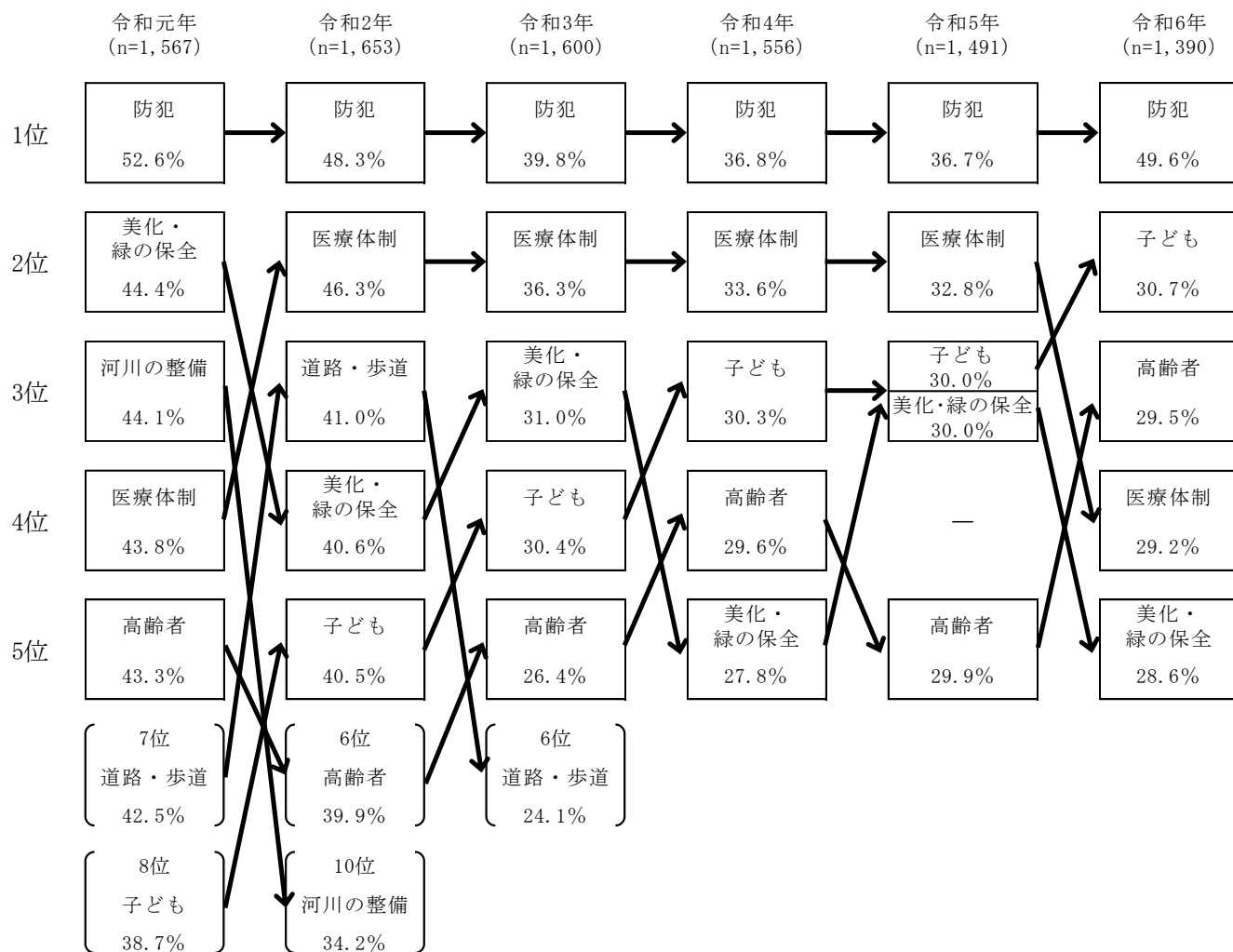
過去の調査結果と比較すると、上位3項目は令和元年度以降変わらず、1位が「日常のごみ収集やリサイクル」、2位が「健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策」、3位が「水道水の安定供給」となっている。昨年度（令和5年度）まで第4位であった「バスなどの交通網の整備」は順位を1つ下げ、今回は「道路、公園、広場の美化・維持管理や自然・緑の保全」が第4位となった。

【図表 92】 市政の仕事でよくやっていると思うこと（複数回答）
（過去の調査の上位5項目推移）



過去の調査結果と比較すると、「防犯対策」は全て1位で、上位5項目は令和3年度以降同じ項目となっているが、今回は「子どものための施策」と「高齢者のための施策」の順位が上がっている。

【図表 94】 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと（複数回答）
（過去の調査の上位5項目推移）



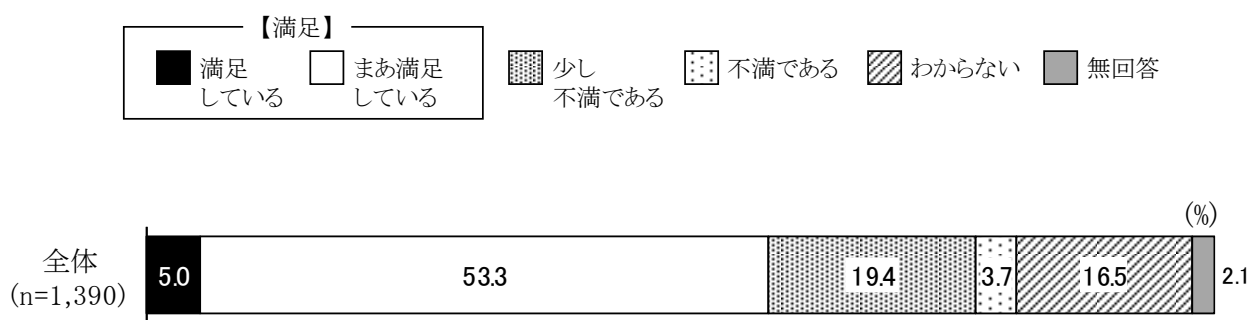
※令和2年度までは選択肢に制限を設けない複数回答にて実施

(3) 施策や事業の総合的な満足度

問 11. あなたは、川崎市が進めている施策や事業を総合的に見た場合、どの程度満足していますか。

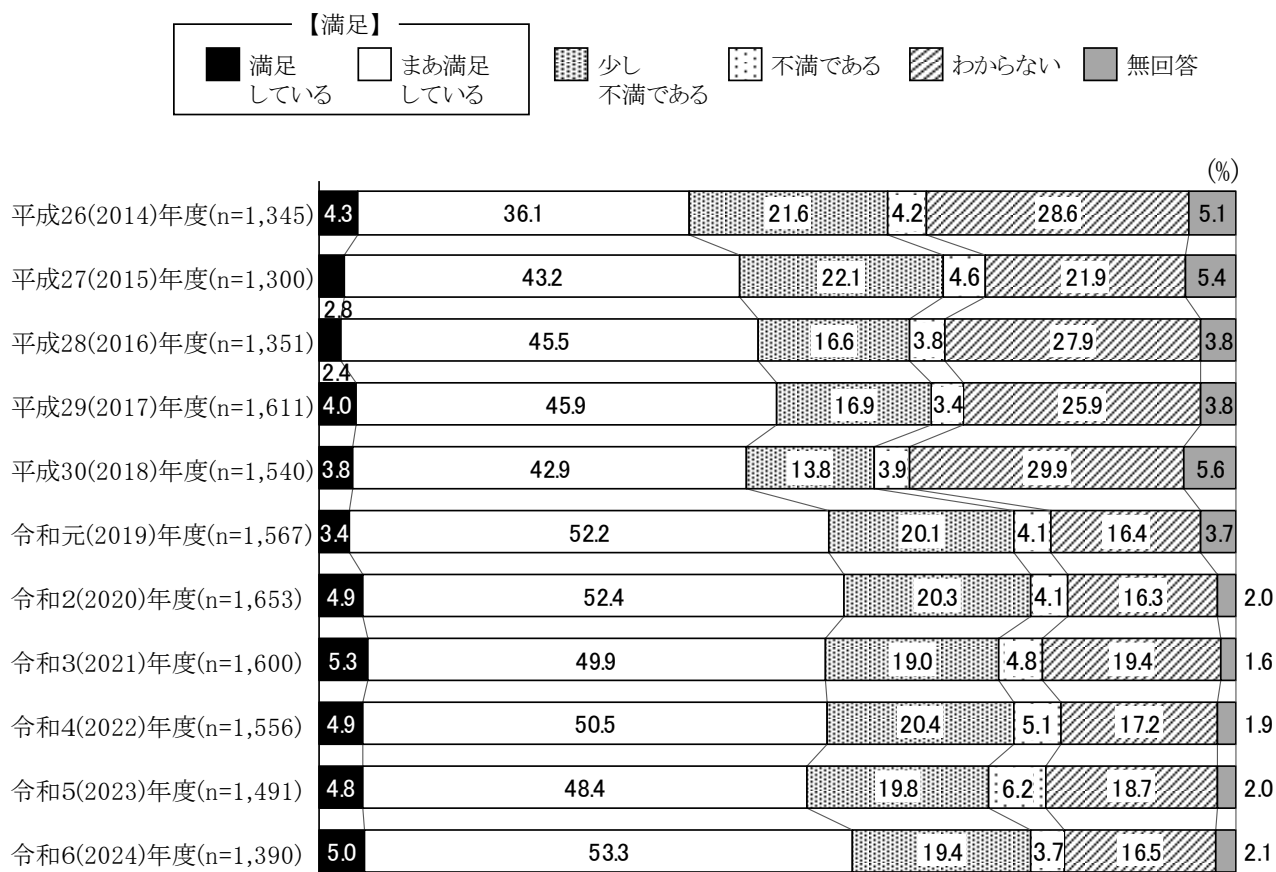
「満足している」(5.0%)と「まあ満足している」(53.3%)を合計した【満足】は58.3%であった。

【図表 95】施策や事業の総合的な満足度



過去の推移を見ると、【満足】は昨年度（令和5年度）から5.0ポイント増加し、過去10年間で最も高くなっている。

【図表 96】施策や事業の総合的な満足度（経年比較）



2.5 これからの区役所などのあり方について

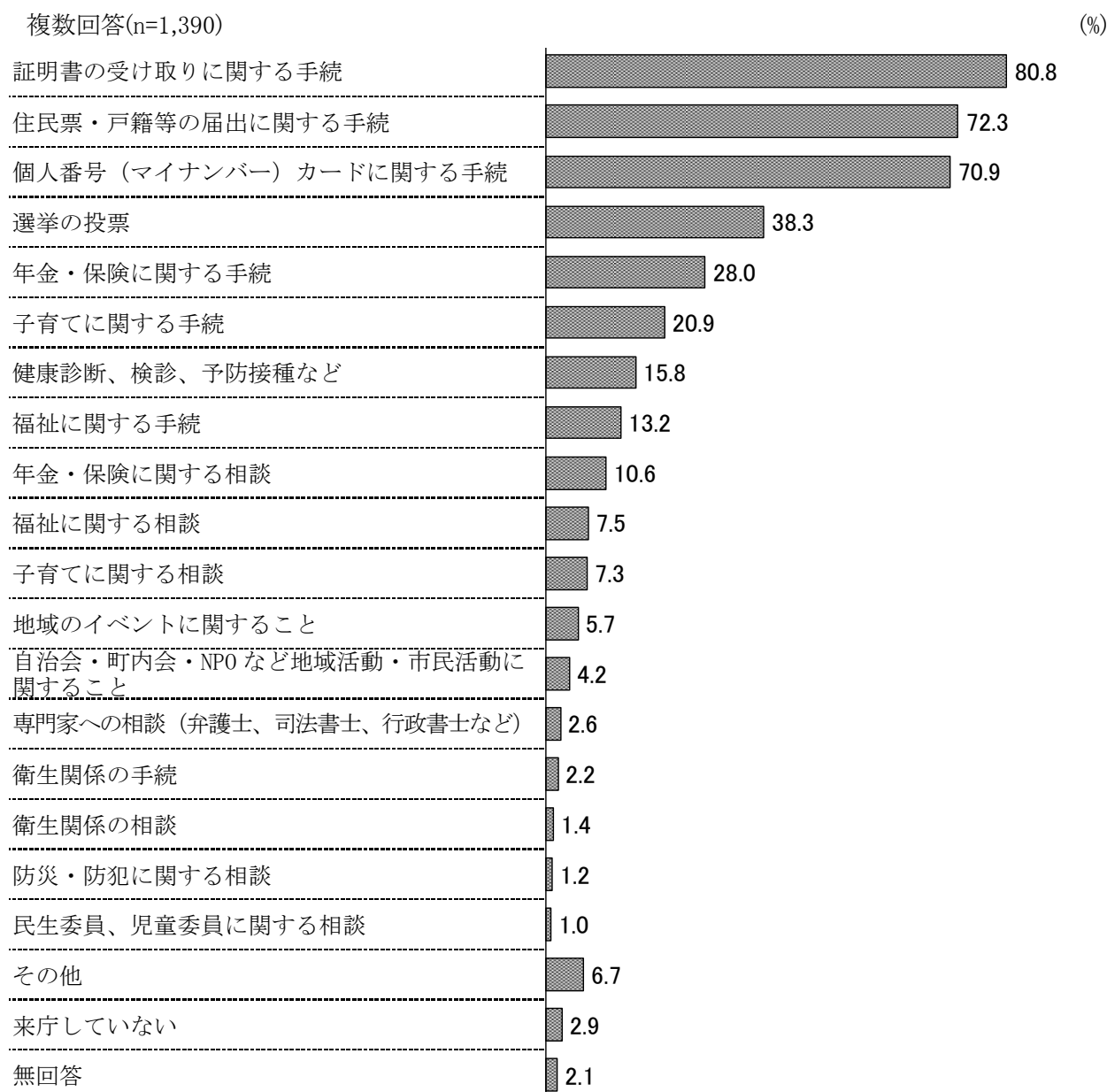
(1) 区役所などへの来庁目的

問 12. 川崎市の区役所・支所・出張所（以下「区役所など」といいます。）への来庁経験についてうかがいます。あなたは、これまでどのような目的で区役所などに来庁しましたか。また、直近1年間ではどのような目的で来庁しましたか。

① これまでに来庁された際の目的

「証明書の受け取りに関する手続」が80.8%と最も高く、次いで「住民票・戸籍等の届出に関する手続」(72.3%)、「個人番号(マイナンバー)カードに関する手続」(70.9%)、「選挙の投票」(38.3%)と続いている。

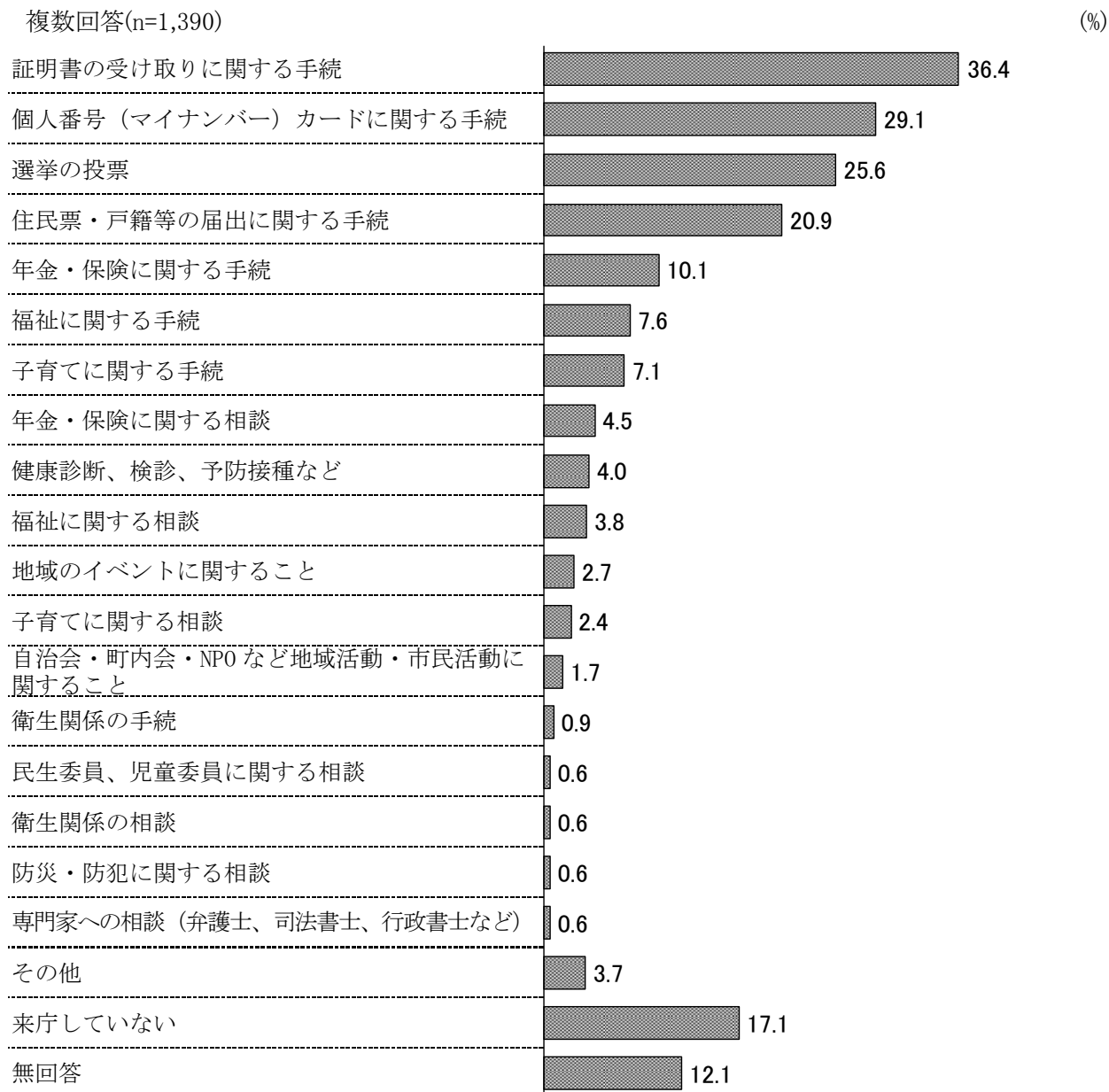
【図表 98】区役所などへの来庁目的（これまでに来庁された際の目的）（複数回答）



② 直近1年間に来庁された際の目的

「証明書の受け取りに関する手続」が36.4%と最も高く、次いで「個人番号（マイナンバー）カードに関する手続」(29.1%)、「選挙の投票」(25.6%)、「住民票・戸籍等の届出に関する手続」(20.9%)と続いている。一方、「来庁していない」は17.1%であった。

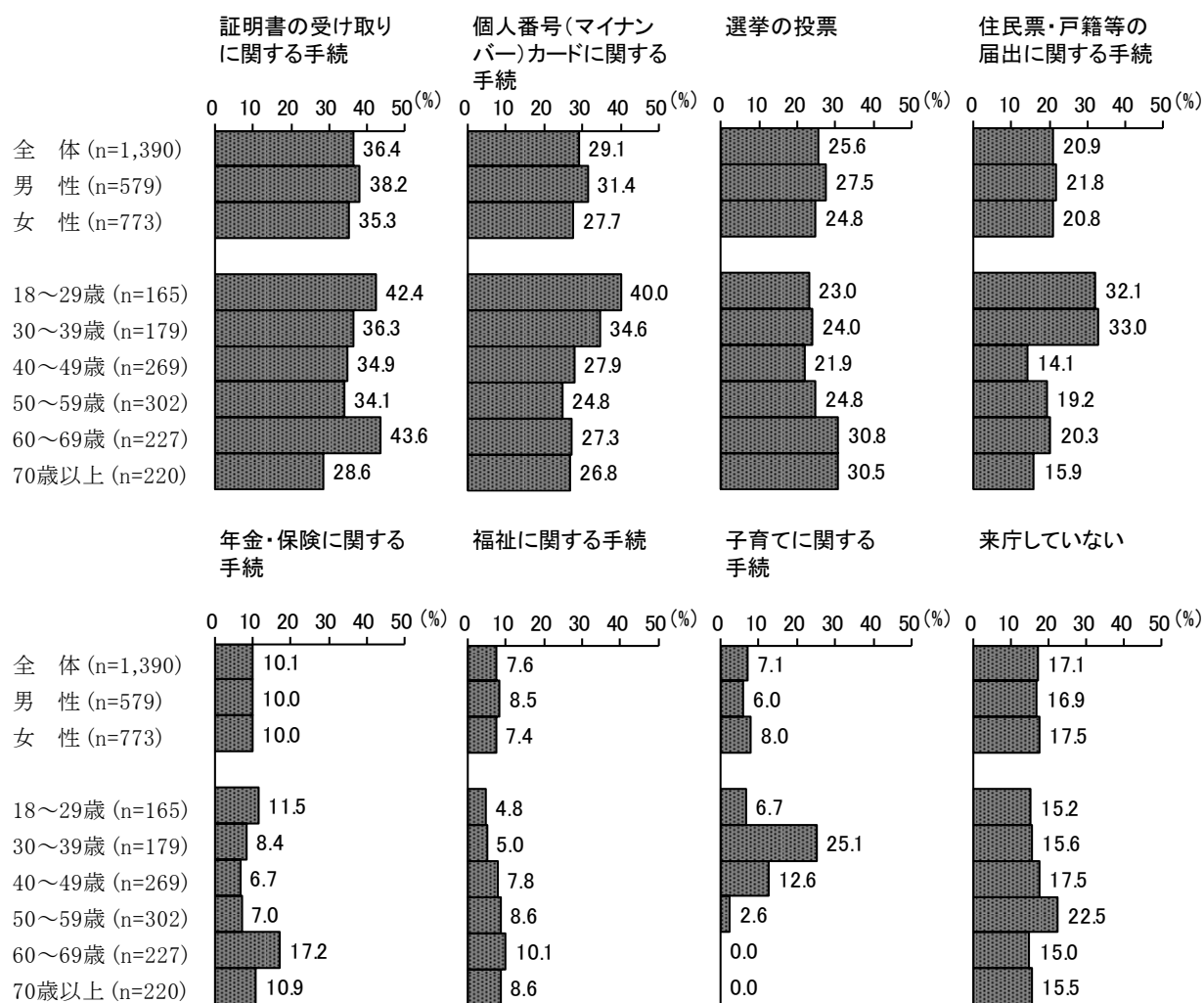
【図表 99】区役所などへの来庁目的（直近1年間に来庁された際の目的）（複数回答）



性別に見ると、「個人番号（マイナンバー）カードに関する手続」は女性よりも男性の方が3.7ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「証明書の受け取りに関する手続」は60～69歳と18～29歳が4割を超えて高く、「個人番号（マイナンバー）カードに関する手続」と「住民票・戸籍等の届出に関する手続」は概ね年齢が下がるほど割合が高くなっている。また、「選挙の投票」は60～69歳と70歳以上が約3割と高く、「年金・保険に関する手続」は60～69歳、「子育てに関する手続」は30～39歳が最も高い。

【図表 100】区役所などへの来庁目的（直近1年間に来庁された際の目的）（複数回答）《上位8項目》
（性別、年齢別）



(2) 区役所などの窓口を訪れた際に改善が必要だと感じたこと

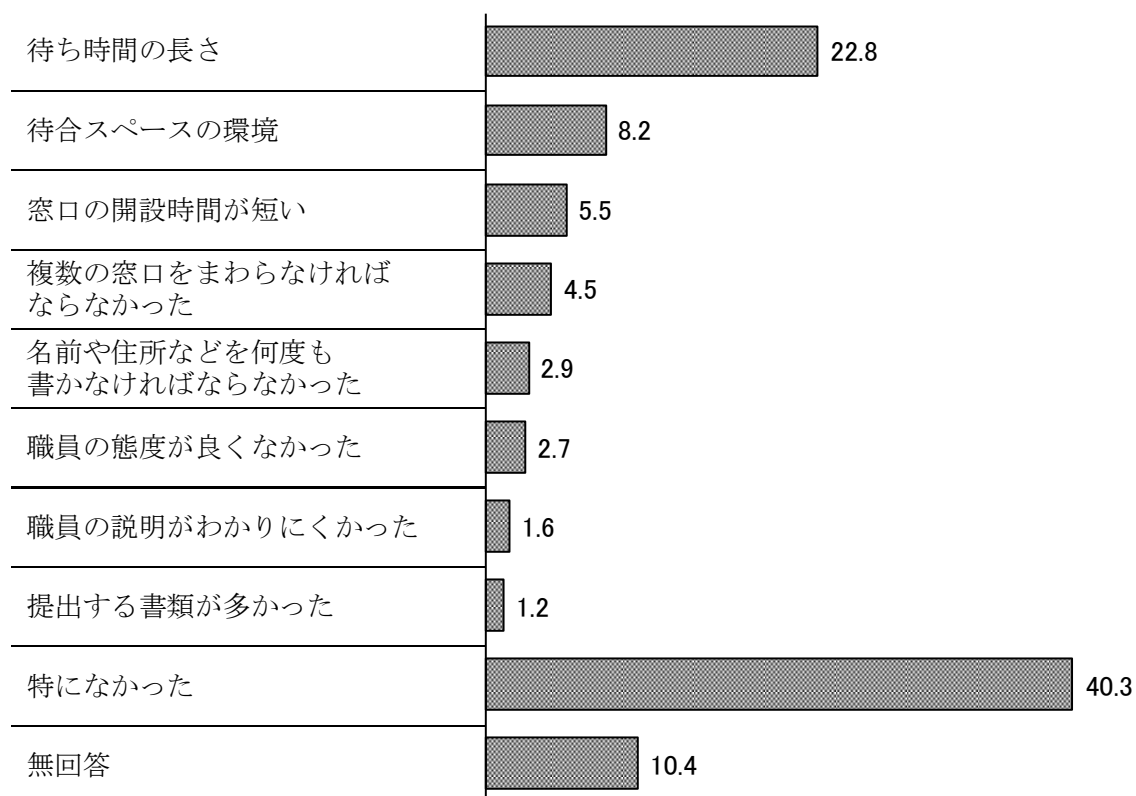
問 13. これまで区役所などの窓口を訪れた際に、改善が必要だと感じたものはどれですか。
最もあてはまるものを1つ選んでください。

これまでに区役所などに来庁経験がある方に、改善が必要だと感じたことについてたずねたところ、「待ち時間の長さ」が22.8%と最も高く、次いで「待合スペースの環境」(8.2%)、「窓口の開設時間が短い」(5.5%)と続いている。一方、「特になかった」(40.3%)は約4割であった。

【図表 101】区役所などの窓口を訪れた際に改善が必要だと感じたこと

(n=1,321)

(%)



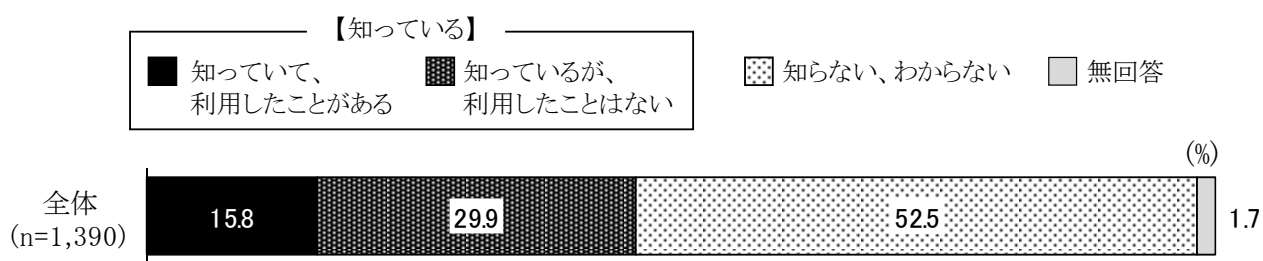
(3) 川崎市が提供するオンライン手続きサービスの認知状況

問 14. 川崎市が提供するオンライン手続きサービス※を知っていますか。

※オンライン手続きかわさき（e-KAWASAKI）、川崎市簡易版電子申請サービス（LoGo フォーム）

「知っていて、利用したことがある」(15.8%)と「知っているが、利用したことはない」(29.9%)を合計した【知っている】は45.8%であった。一方で、「知らない、わからない」(52.5%)が5割を超えている。

【図表 103】 川崎市が提供するオンライン手続きサービスの認知状況

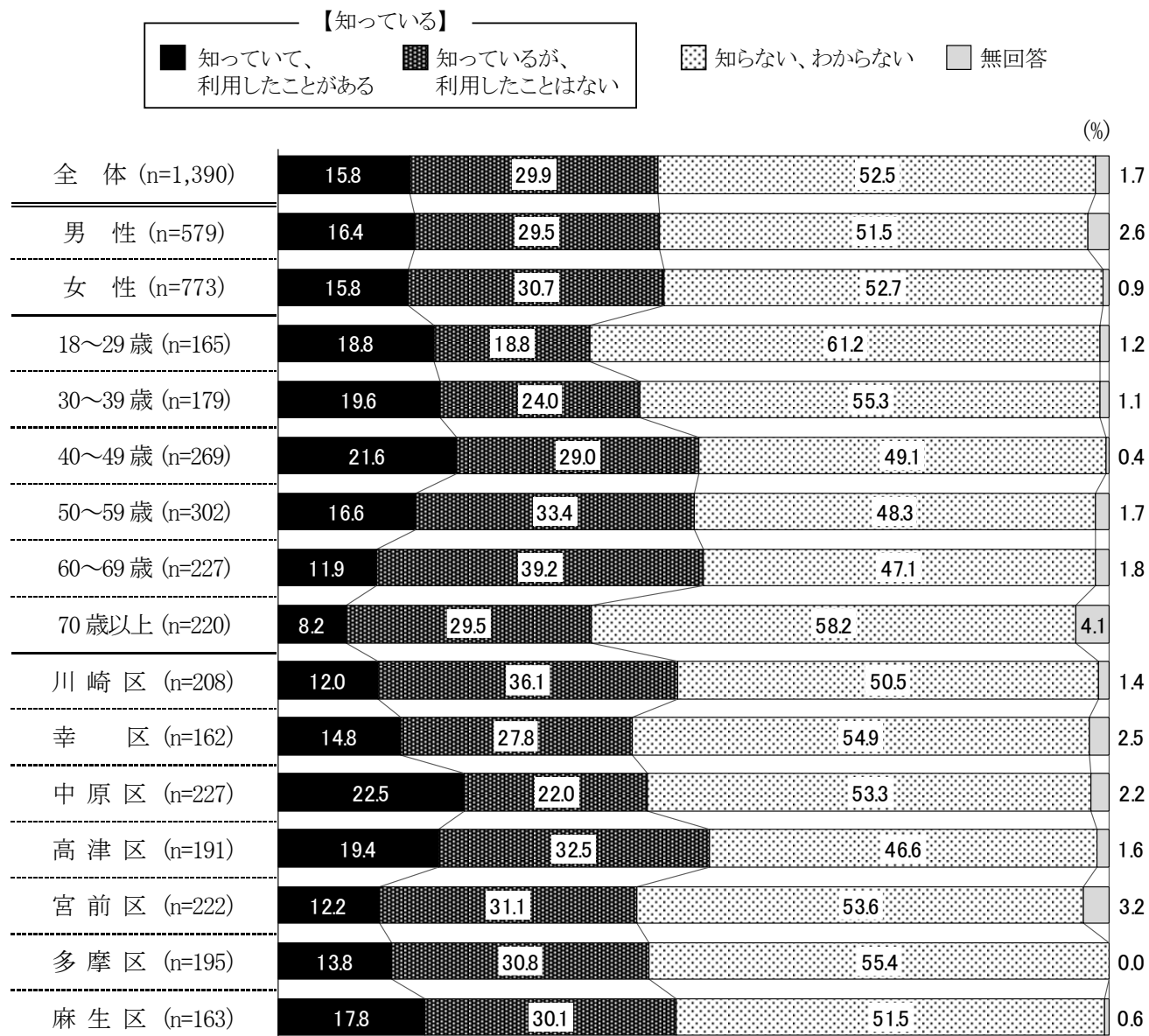


性別では傾向に大きな差は見られない。

年齢別に見ると、【知っている】は40歳代～60歳代が約5割となっているが、「知っていて、利用したことがある」は40～49歳（21.6%）が最も高い。

居住区別に見ると、【知っている】は「高津区」（51.8%）が最も高く、「知っていて、利用したことがある」は「中原区」（22.5%）が最も高い。

【図表 104】川崎市が提供するオンライン手続きサービスの認知状況（性別、年齢別、居住区別）



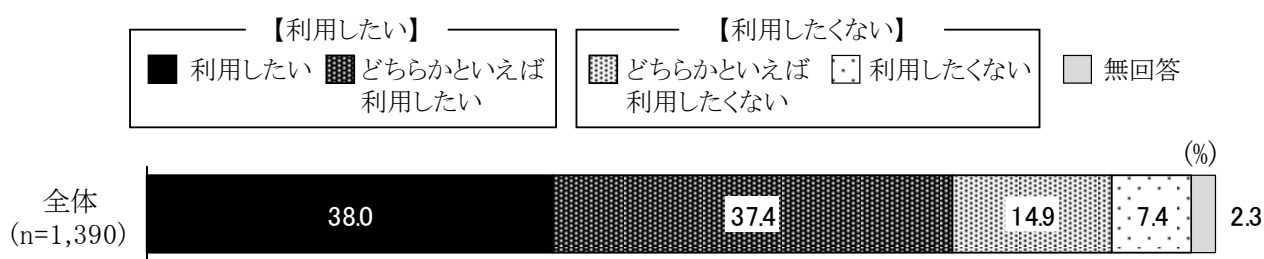
(4) 川崎市が提供するオンライン手続きサービスの利用意向

問 15. 川崎市が提供するオンライン手続きサービス※を今後利用したいと思いますか。

※オンライン手続きかわさき (e-KAWASAKI)、川崎市簡易版電子申請サービス (LoGo フォーム)

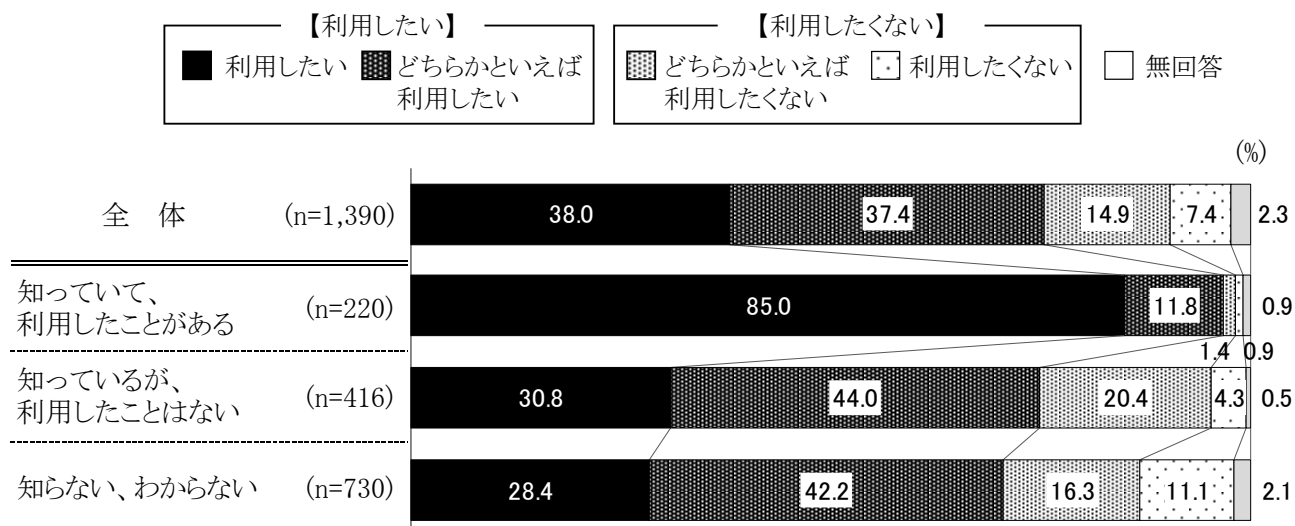
「利用したい」(38.0%)と「どちらかといえば利用したい」(37.4%)を合計した【利用したい】は75.4%であった。一方で、「どちらかといえば利用したくない」(14.9%)と「利用したくない」(7.4%)を合計した【利用したくない】は22.3%となっている。

【図表 105】川崎市が提供するオンライン手続きサービスの利用意向



問 14 のオンライン手続きサービスの認知状況別に見ると、「知っているが、利用したことはない」と回答した人のうち、【利用したい】の割合は7割台半ばとなっている。また、「知らない、わからない」と回答した人においても【利用したい】が約7割を占めた。

【図表 107】川崎市が提供するオンライン手続きサービスの利用意向（認知状況別）

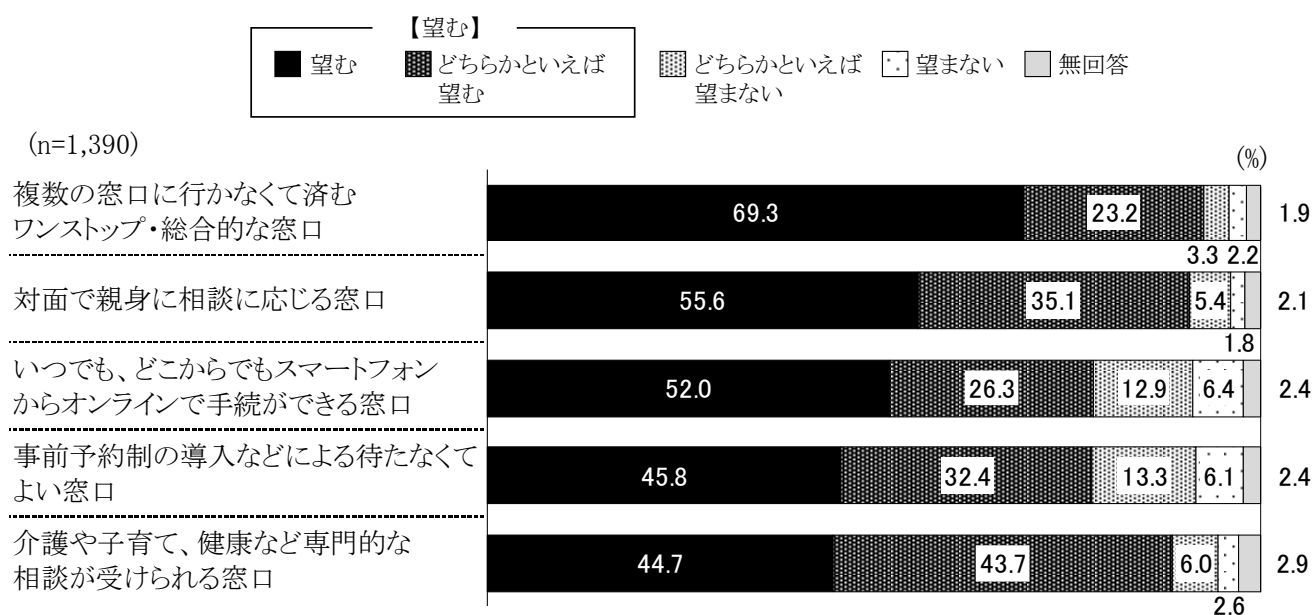


(5) 区役所などの窓口サービスに望むもの

問 16. 区役所などの窓口サービスについて、あなたの考えに近いものを、それぞれ1つずつ選んでください。

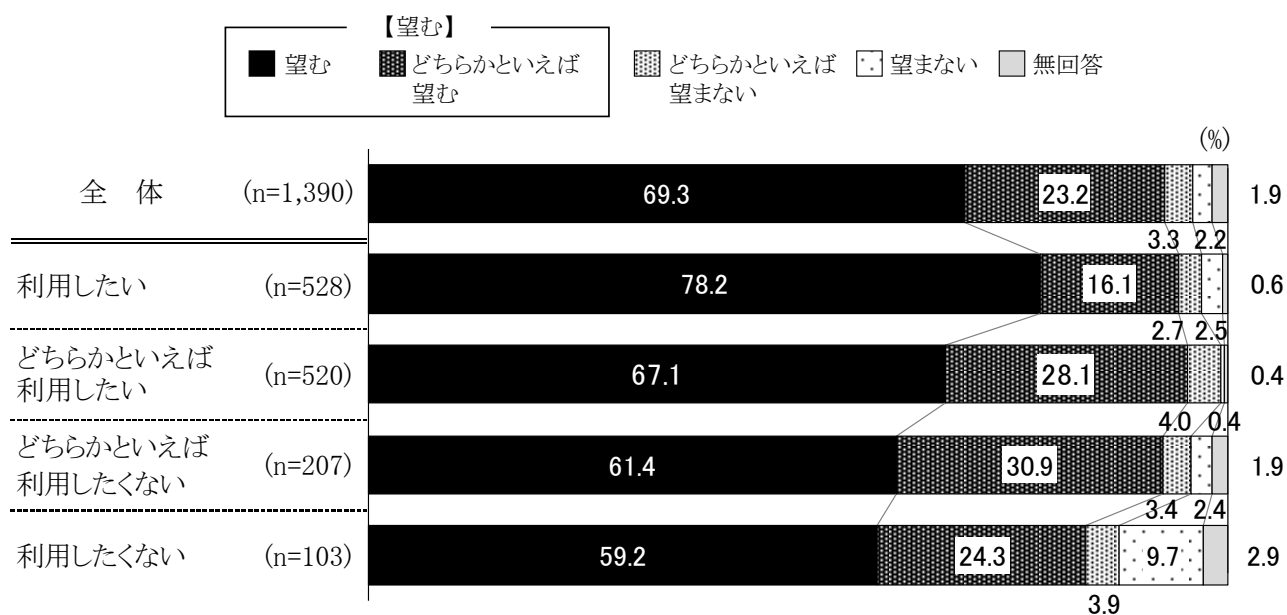
「望む」の割合は、「複数の窓口に行かなくて済むワンストップ・総合的な窓口」が69.3%と最も高く、次いで「対面で親身に相談に応じる窓口」(55.6%)、「いつでも、どこからでもスマートフォンからオンラインで手続きができる窓口」(52.0%)までが5割以上となっている。また、「望む」と「どちらかといえば望む」を合計した【望む】の割合は全ての項目で7割を超えている。

【図表 108】区役所などの窓口サービスに望むもの



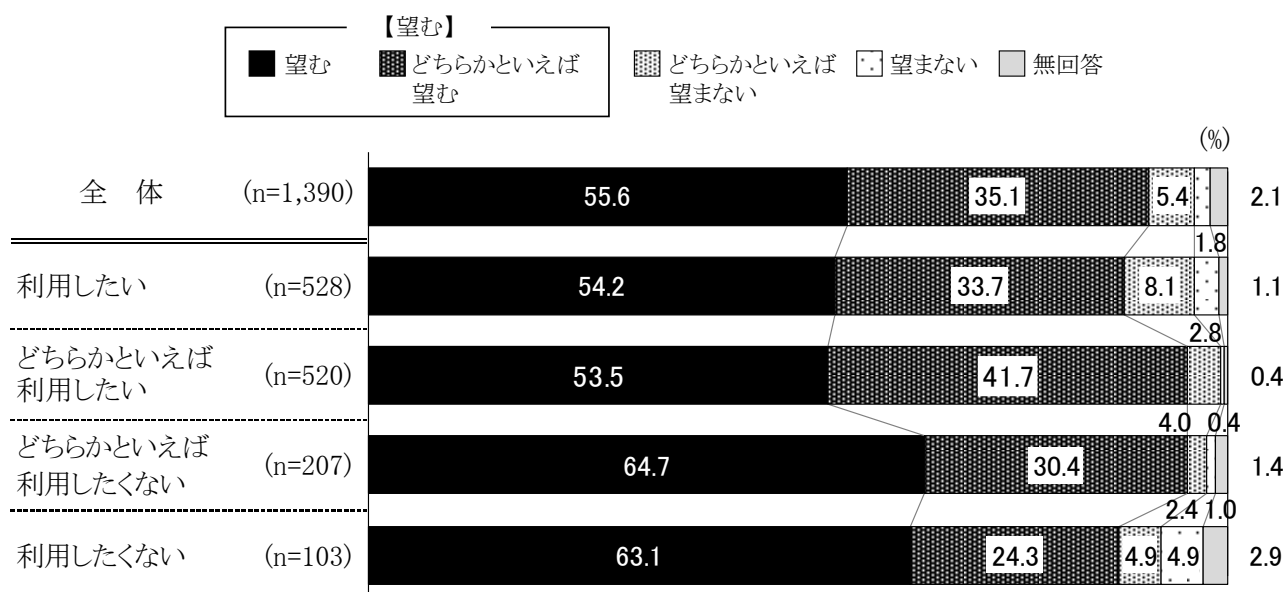
問15のオンライン手続きサービスの利用意向別に見ると、「望む」の割合はオンライン手続きサービスの利用意向のある人ほど高く、「利用したい」と回答した人（78.2%）では8割近くを占めている。また、「望む」と「どちらかといえば望む」を合計した【望む】の割合は、「利用したくない」と回答した人（83.5%）を除き、9割を超えている。

【図表 110】区役所などの窓口サービスに望むもの（オンライン手続きサービスの利用意向別）
〔複数の窓口に行かなくて済むワンストップ・総合的な窓口〕



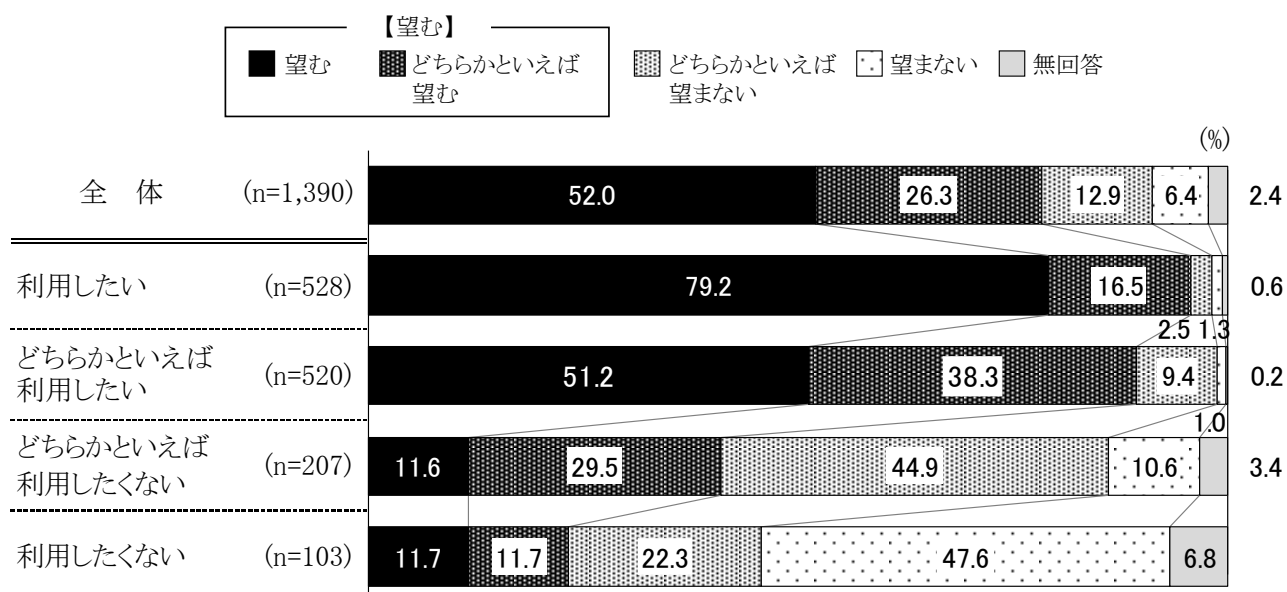
問15のオンライン手続きサービスの利用意向別に見ると、「望む」の割合はオンライン手続きサービスを「利用したい」、「どちらかといえば利用したい」と回答した人ではともに5割台であるのに対し、「どちらかといえば利用したくない」、「利用したくない」と回答した人ではともに6割台と高くなっている。

【図表 112】区役所などの窓口サービスに望むもの（オンライン手続きサービスの利用意向別）
〔対面で親身に相談に応じる窓口〕



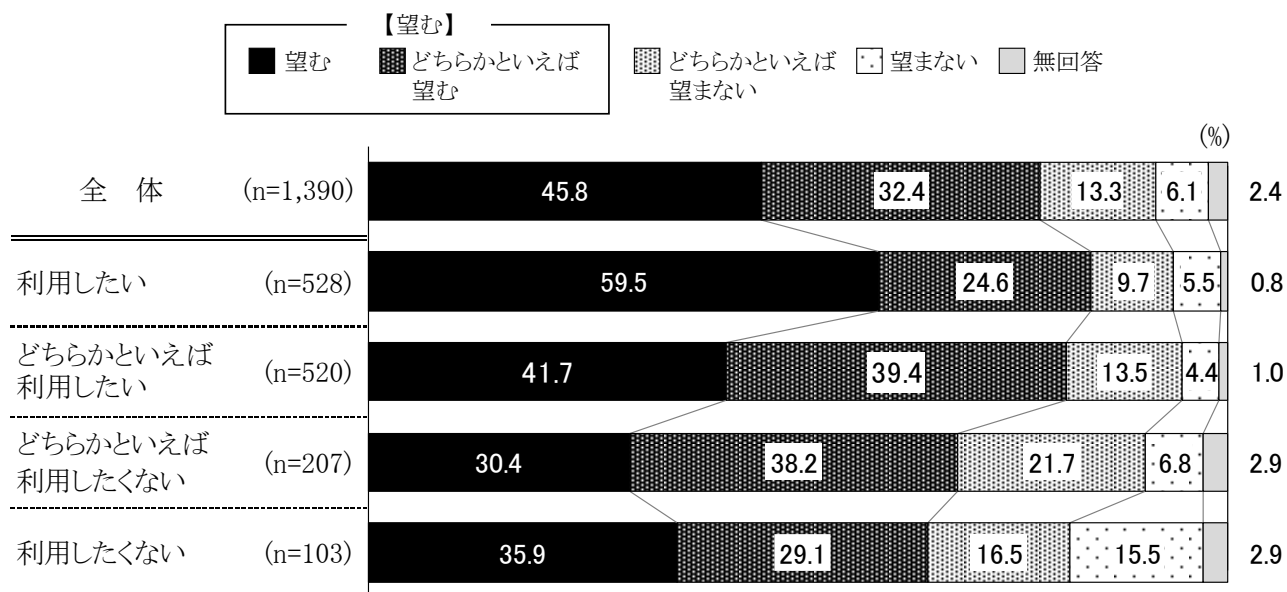
問15のオンライン手続きサービスの利用意向別に見ると、「望む」の割合はオンライン手続きサービスを「利用したい」と回答した人(79.2%)では約8割、「どちらかといえば利用したい」と回答した人(51.2%)では5割を超えている。一方、「どちらかといえば利用したくない」、「利用したくない」と回答した人ではともに約1割と低くなっている。

【図表 114】区役所などの窓口サービスに望むもの（オンライン手続きサービスの利用意向別）
〔いつでも、どこからでもスマートフォンからオンラインで手続きができる窓口〕



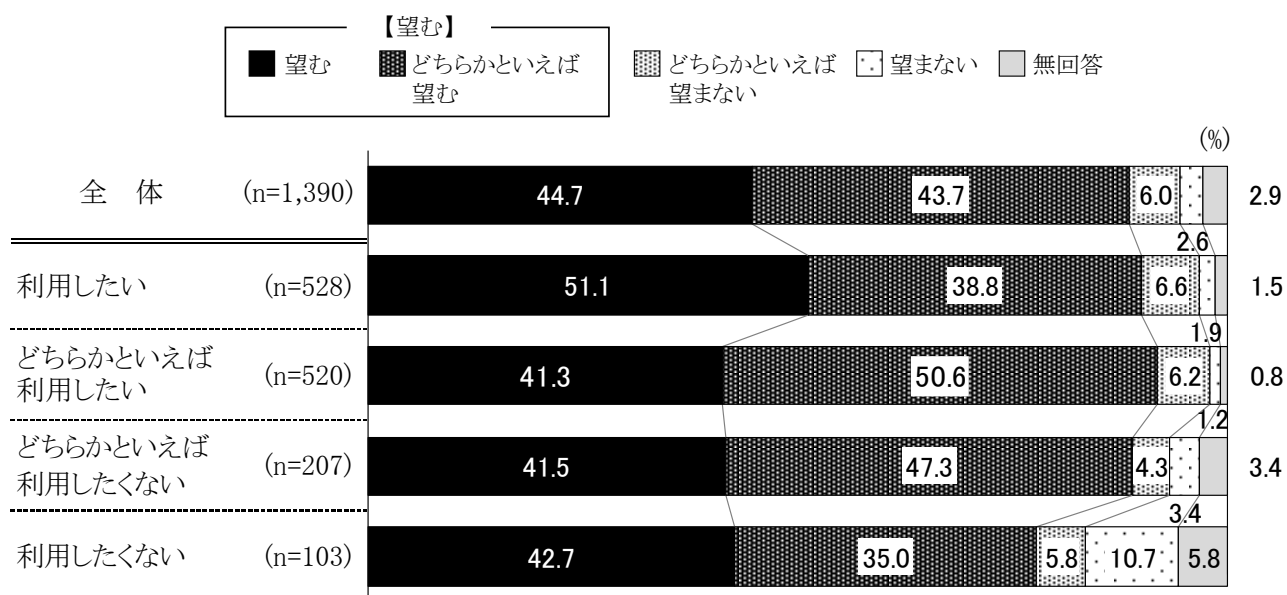
問15のオンライン手続きサービスの利用意向別に見ると、「望む」の割合はオンライン手続きサービスを「利用したい」と回答した人(59.5%)が約6割と最も高い。また、「望む」と「どちらかといえば望む」を合計した【望む】の割合は利用意向のある人ほど高くなっている。

【図表 116】区役所などの窓口サービスに望むもの（オンライン手続きサービスの利用意向別）
〔事前予約制の導入などによる待たなくてよい窓口〕



問15のオンライン手続きサービスの利用意向別に見ると、「望む」の割合はオンライン手続きサービスを「利用したい」と回答した人(51.1%)が約5割と最も高い。また、「望む」と「どちらかといえば望む」を合計した【望む】の割合は、「利用したくない」と回答した人(77.7%)を除き、8割台後半～9割台前半となっている。

【図表 118】区役所などの窓口サービスに望むもの（オンライン手続きサービスの利用意向別）
〔介護や子育て、健康など専門的な相談が受けられる窓口〕

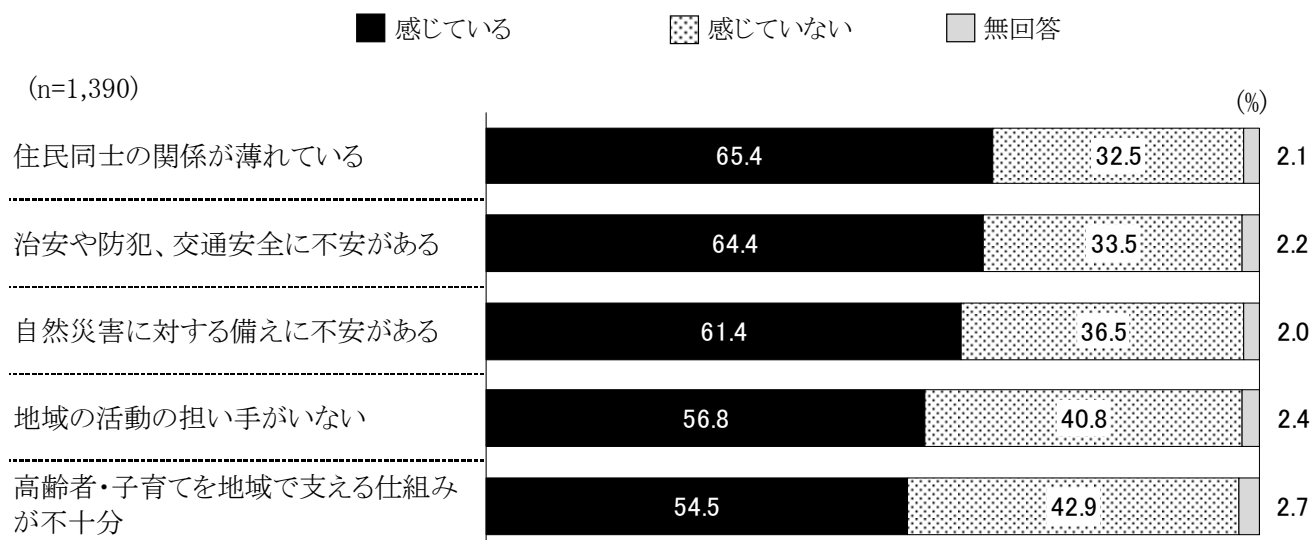


(6) 地域における課題について

問 17. 区役所などは、行政手続を行う場であるとともに、地域の課題を把握し、解決に向けた取組につなげていく拠点でもあります。あなたが住んでいる地域（小学校区など）で、次の項目についてどのように感じていますか。

「感じている」の割合は、「住民同士の関係が薄れている」が 65.4%と最も高く、次いで「治安や防犯、交通安全に不安がある」(64.4%)、「自然災害に対する備えに不安がある」(61.4%)と続き、全ての項目で5割を超えている。

【図表 119】 地域における課題について

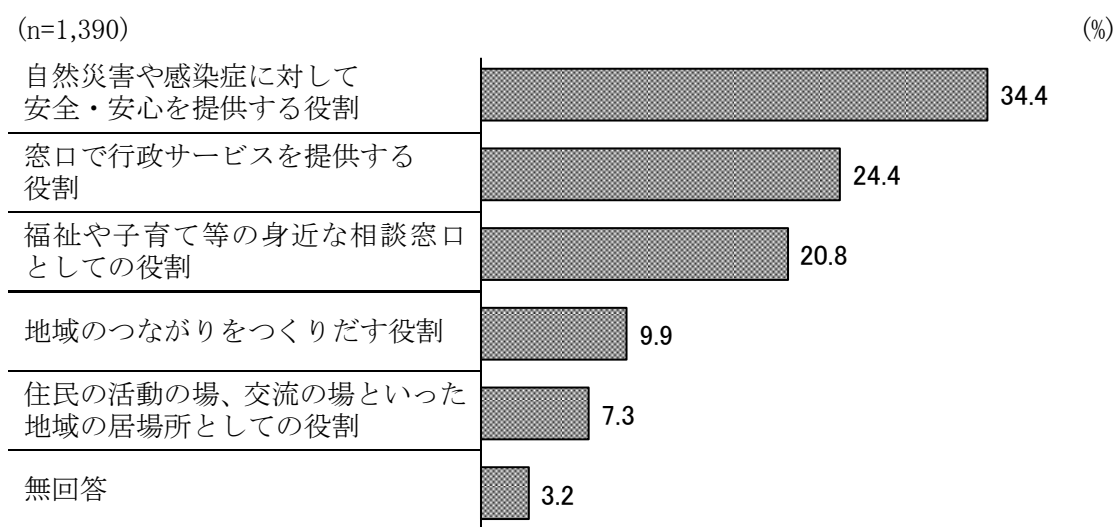


(7) これからの区役所などに期待する役割

問 18. これからの区役所などに、どのような役割を期待しますか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

「自然災害や感染症に対して安全・安心を提供する役割」が34.4%と最も高く、次いで「窓口で行政サービスを提供する役割」(24.4%)、「福祉や子育て等の身近な相談窓口としての役割」(20.8%)と続いている。

【図表 121】 これからの区役所などに期待する役割

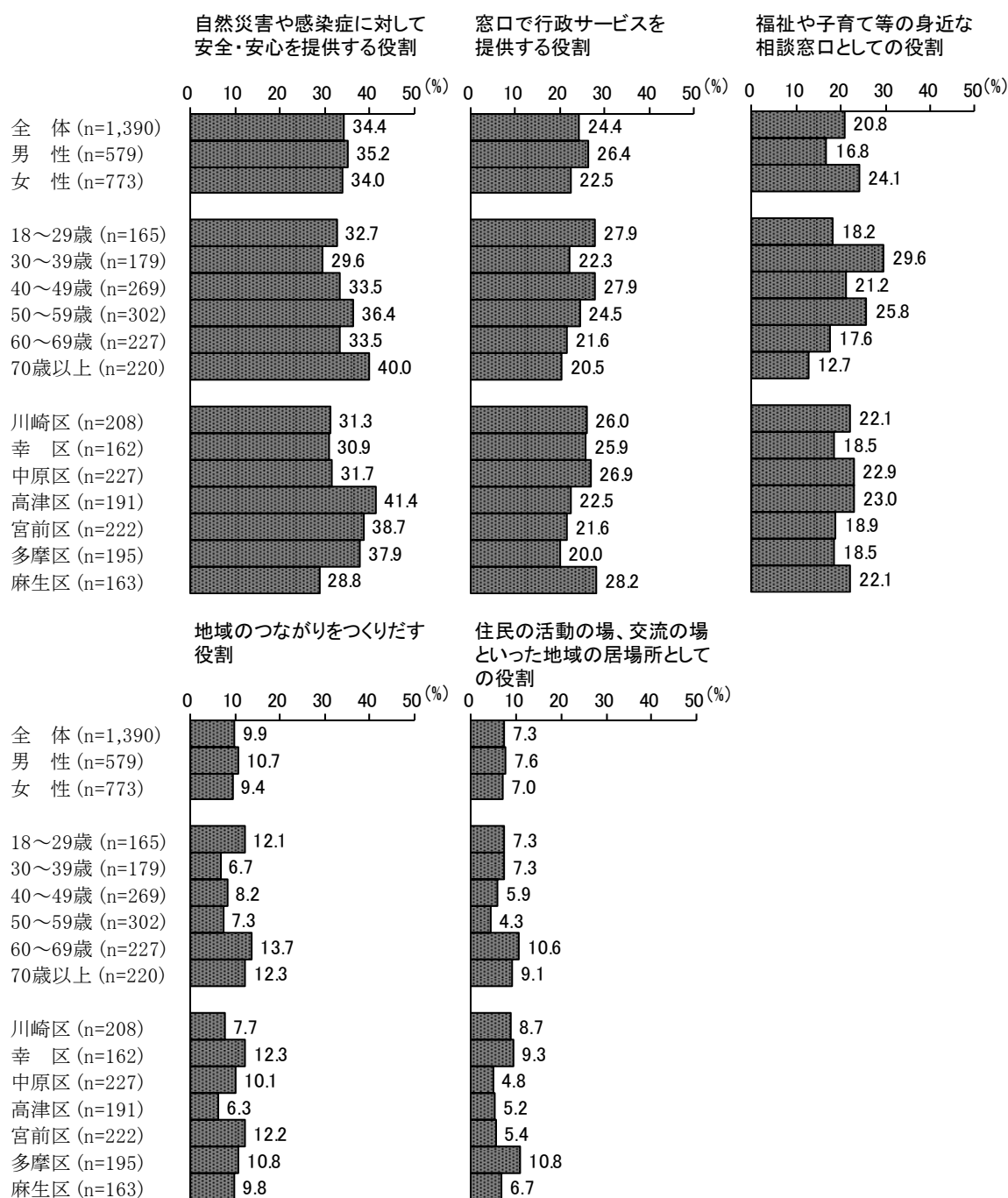


性別に見ると、「福祉や子育て等の身近な相談窓口としての役割」は男性よりも女性の方が7.3ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「自然災害や感染症に対して安全・安心を提供する役割」は70歳以上(40.0%)が最も高く、「窓口で行政サービスを提供する役割」は概ね年齢が下がるほど割合が高くなっている。また、「福祉や子育て等の身近な相談窓口としての役割」は30～39歳(29.6%)が最も高い。

居住区別に見ると、「自然災害や感染症に対して安全・安心を提供する役割」は「高津区」(41.4%)が最も高く、「窓口で行政サービスを提供する役割」は「麻生区」(28.2%)が最も高い。

【図表 122】 これからの区役所などに期待する役割
(性別、年齢別、居住区別)

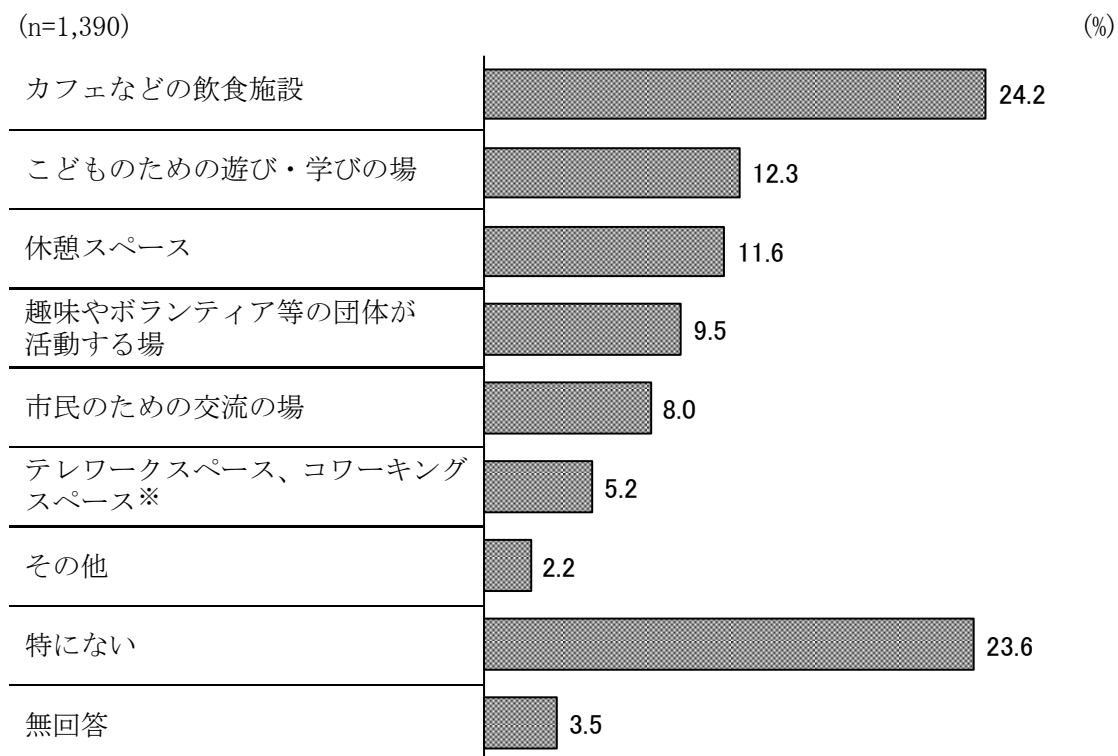


(8) 区役所などにあると良いと思う場

問 19. 区役所などにどのような場があると良いと思いますか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

「カフェなどの飲食施設」が24.2%と最も高く、次いで「こどものための遊び・学びの場」(12.3%)、「休憩スペース」(11.6%)と続いている。一方で、「特にない」は23.6%であった。

【図表 123】区役所などにあると良いと思う場



※コワーキングスペース…1つの共有スペースで複数人が仕事する場。

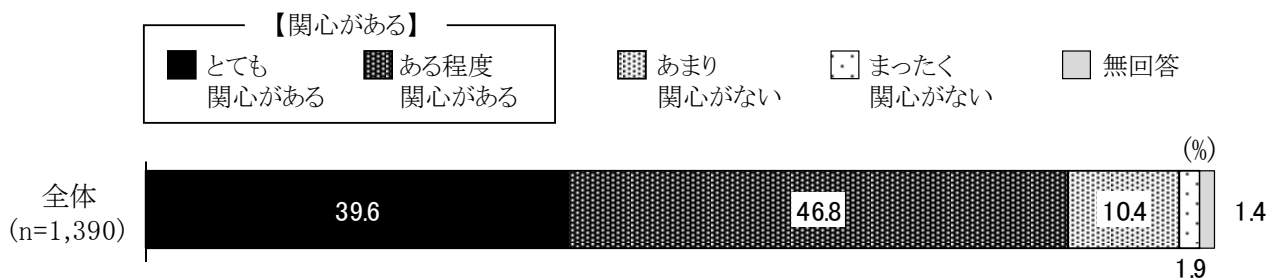
2.6 脱炭素社会の実現について

(1) 地球温暖化の進行に伴う気候変動などへの関心の程度

問 20. 昨今の地球温暖化の進行に伴う気候変動や激甚・頻発化する豪雨災害などについて、どの程度関心がありますか。

「関心がある」(39.6%)と「ある程度関心がある」(46.8%)を合計した【関心がある】は86.3%であった。

【図表 125】地球温暖化の進行に伴う気候変動などへの関心の程度

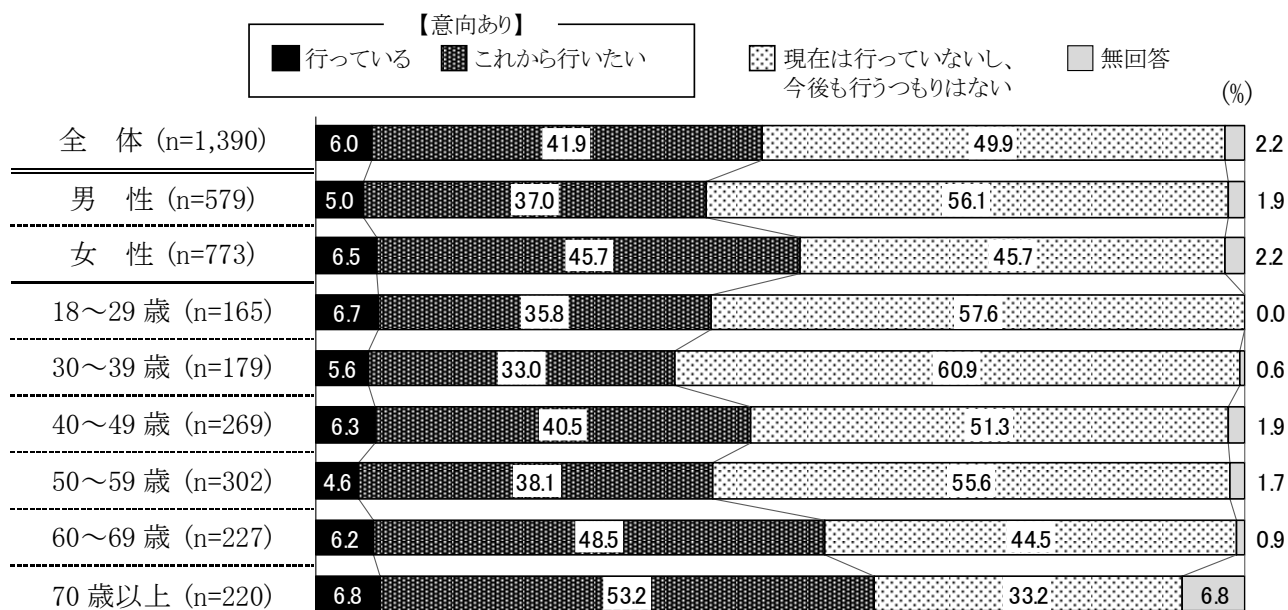


⑮ 環境関連のイベントや展示会など、環境に関する催しに参加する

性別に見ると、「行っている」と「これから行いたい」を合計した【意向あり】の割合は、男性よりも女性の方が10.1ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「行っている」は全ての年齢層で1割を下回った。また、【意向あり】は70歳以上が6割と最も高く、30～39歳が3割台後半と最も低い。

【図表 150】地球温暖化の緩和策として現在取り組んでいること（性別、年齢別）
〔環境関連のイベントや展示会など、環境に関する催しに参加する〕

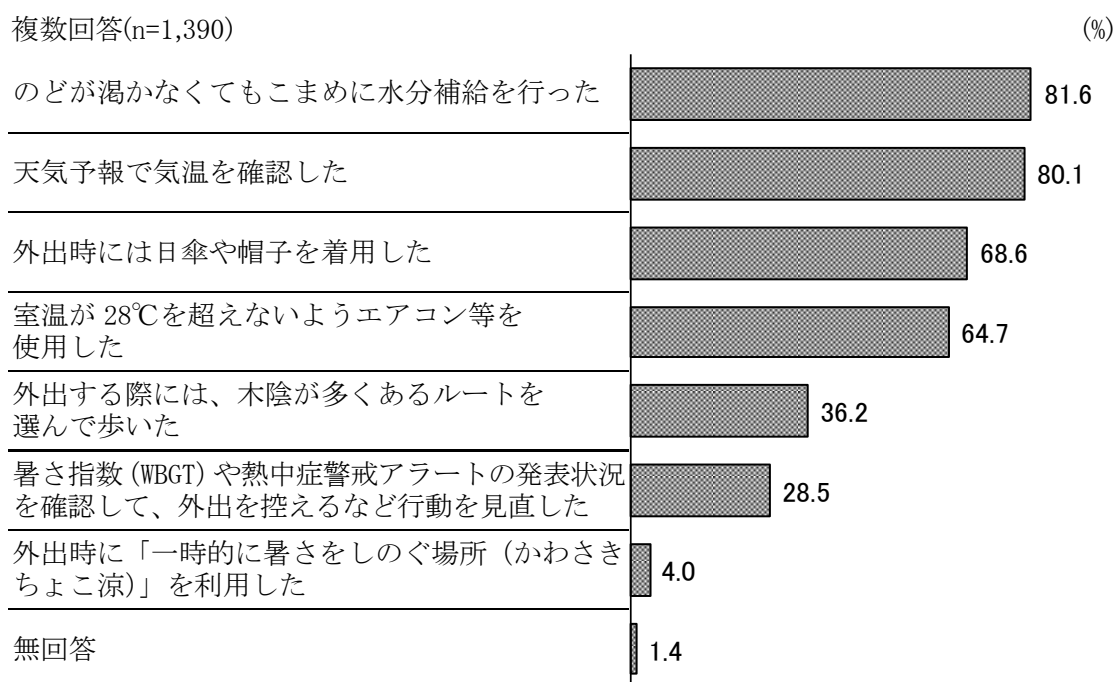


(6) 熱中症対策として今年の夏に取り組んだこと

問 25. 気候変動影響の適応策の一つである熱中症対策についてお聞きします。
今年の夏に、熱中症対策として実際に取り組んだことを選んでください。

「のどが渇かなくてもこまめに水分補給を行った」が 81.6%と最も高く、次いで「天気予報で気温を確認した」(80.1%)、「外出時には日傘や帽子を着用した」(68.6%)、「室温が 28℃を超えないようエアコン等を使用した」(64.7%)と続いている。

【図表 151】熱中症対策として今年の夏に取り組んだこと（複数回答）



(7) 脱炭素社会の実現に向け、さらに力を入れてほしい取組

問 26. 川崎市では、脱炭素社会の実現に向けて、以下のような取り組みを行ってきました。
今後、さらに力を入れてほしい取組を1つ選んでください。

「学校、地域、事業所などにおける環境教育などを通じた意識啓発の推進」が16.5%と最も高く、次いで「市内公共施設への太陽光発電の設置拡大や再生可能エネルギー100%電力を調達する等の取組」(15.8%)、「気温上昇等に伴う気候変動適応の促進に向けた取組」(15.3%)と続いている。

【図表 153】脱炭素社会の実現に向け、さらに力を入れてほしい取組

